

平成 2 9 年度
S Y L L A B U S
講 義 要 項

保 育 学 科

山村学園短期大学

保育学科 SYLLABUS もくじ

頁	科目名	担当教員名	頁	科目名	担当教員名
【教養科目】			35	身体表現	鴨志田
1	日本国憲法	今西	36	リトミック・リズム運動	鴨志田
2	体育講義	木内	37	音楽表現	福泉・福士
3	体育実技	木内	38	子どものうたと遊び	大島
4	保育英会話	中村	【教職に関する科目】		
5	生命倫理	渡邊	39	教育方法・技術論	新井英
6	コンピュータ基礎演習	新井誠	40	保育・教職実践演習(幼稚園)	橋本淳・今村
7	保育入門	相沢・今村・山村	【保育表現技術科目】		
8	基礎演習	相沢・橋本夏・鴨志田・橋本淳	41	音楽	福泉・数野・大導寺・町田・福士
【保育の本質・目的に関する科目】			42	図画工作	橋本夏
9	社会福祉	橋本淳	43	幼児体育	鴨志田
10	相談援助	室井	44	生活	野口
11	児童家庭福祉	橋本淳	【保育者の資質を高める科目】		
12	保育原理	室井	45	総合演習	新井英・室井・今村・福泉
13	社会的養護(1年生)	黒澤一		カウンセリング論	平成29年度開講せず
14	社会的養護(2年生)	黒澤一	46	乳児小児救命法	橋本夏・マスターワークス
15	教育原理	新井英	47	子ども文化演習A	尾崎
16	特別支援教育論	黒澤一	48	子ども文化演習B	新井英・井上
17	保育・教育職の研究	野口	49	子ども文化演習C・劇	鴨志田・橋本夏・福泉
【保育の対象の理解に関する科目】			50	子ども文化演習D	菅原
18	保育の心理学	今村	51	レクリエーション・野外活動	新井英・井上
19	保育の心理学	土屋	52	ピアノA	山邊・数野・大導寺・町田・福士
20	子どもの保健	田中・相沢・山村	53	ピアノB	福泉・山邊・数野・大導寺
21	子どもの保健	田中			町田・福士
22	子どもの食と栄養	田中	54	スキルアップセミナー	相沢・橋本夏・鴨志田・橋本淳
23	家庭支援論	北條	55	スキルアップセミナー	新井英・室井・今村・福泉
【保育の内容・方法に関する科目】			【実習科目】		
24	保育内容総論	相沢	56	実習指導	橋本淳・相沢・今村・室井
25	保育内容A	相沢・鴨志田・室井	57	実習指導	橋本淳・相沢・今村・黒澤一・室井
26	保育内容B	鴨志田・室井	58	実習指導	橋本淳・相沢・今村・黒澤一・室井
27	保育内容C	相沢・今村	59	保育実習	室井
28	保育内容D	相沢・今村・室井	60	施設実習	黒澤一
29	乳児保育	今村	61	保育実習	橋本淳
30	障がい児保育	黒澤民	62	施設実習	黒澤一
	社会的養護内容	平成29年度開講せず	63	教育実習	今村
31	保育・教育相談の方法	森	64	教育実習	相沢
32	保育・教育課程論	新井英	【研究理解】		
33	造形表現	橋本夏	65	クラス運営と教材研究	橋本淳・北條
34	子どものアート	服部	66	クラス運営と教材研究	橋本淳・北條

教 養 科 目

授 業 科 目 名	日本国憲法			教 員	今西 隆彦		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	憲法、自由						
授 業 の 概 要	憲法は私たちの周りにある法律の基本となっている法律ですから、その内容を正しく理解することは、日本国民である私たちに必要なことです。しかし、「憲法」と言われても、なかなかイメージが湧かないのが現実でしょう。それは、私たちが小学校から高校で習う「憲法」の話の内容が身近に感じられないことがないことも原因になっていると思います。 そこでこの講義では、憲法をなるべくわかりやすく解説しながら、憲法の基本を学び、習得してもらうようにしたいと思います。						
授業のねらいと到達目標	【ね ら い】 義務教育等で学んできた憲法を再度おさらいしながら、基本をしっかりと理解すること。 【到達目標】 主権者である国民として必要最低限の憲法の知識を身につける。						
授業の方法等	基本的には講義形式です。また、DVD視聴、法廷傍聴等の見学会(有志のみ)などを交えることを考えています。扱うテーマや講義の形式についても要望を受けつつ、できるだけ要望に応えるつもりです。また、憲法に限らず、法律的な考え方を伝えられるようなものであれば、他分野の法律についても扱っていきたいと考えています。						
授 業 計 画	1 自己紹介、ガイダンス 2 憲法とはなにか、憲法の歴史 3 国際法から考える憲法9条 4 自由とその規制、個人の尊重と法の下での平等、プライバシー 5 精神的自由権 (思想、良心の自由) 6 精神的自由権 (信教の自由、政教分離) 7 精神的自由権 (表現の自由、知る権利、報道の自由) 8 経済的自由権、社会権 9 これまでのおさらい 10 法律に関するテーマで授業 11 刑事事件の話 12 裁判員裁判(DVD視聴) 13 三権分立について、国会と内閣の仕組みと役割 14 裁判所の仕組みとその役割、民主主義と皇室 15 まとめ						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔筆記〕50% ■ 授業への取り組み・態度 50%						
教 科 書	裁判所職員総合研修所監修「憲法概説」(司法協会、再訂版、平成13年)						
参 考 書	特になし						
予習・復習・課題など	新聞やニュースなどの時事問題に興味を持っていただき、授業中にそれについて質問してください。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	授業前後又はメール(imanishi-lo@arion.ocn.ne.jp)にて。						
履 修 上 の 注 意	例年授業態度が非常に悪い人たちがいます。特に私語については、講義の妨げになるだけでなく講義を聞いてくれている人たちの妨害になりますので、慎んでください。						

授 業 科 目 名	体 育 講 義			教 員	木 内 誠		
開 講 時 期	後 期	配 当 年 次	2	単 位 数	1	授 業 形 態	講 義
免 許 ・ 資 格 と の 関 係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	体育、スポーツ、運動、健康						
授 業 の 概 要	体育に関する基礎的な理論やスポーツ、運動、健康づくりの実践や指導に関する基礎的知識の習得を目指す。運動技能を身につける(学習する)プロセス、モチベーション、リーダーシップに加え、社会のなかでどのような文化としてスポーツが存在するかなど、スポーツに関する幅広い知識を習得する。						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】近年、生活の質の向上を目指す機運の向上や健康志向の高まりを背景に、スポーツや運動が社会的関心事のひとつとなっている。本講義では、スポーツを多様な視点から概観し、基礎的知識の習得をねらいとする。 【到達目標】体育、スポーツ、運動、健康に関する基礎的な理論を理解することができるとともに、実践や指導に関する基礎的知識を身につける。						
授 業 の 方 法 等	プレゼン資料を用い講義形式で行う。ビデオを用いた学習やグループワークも行う。定期試験は、授業内容から出題する。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 授業内容・評価方法の説明 2 運動学習 3 運動学習 4 運動・スポーツ行動への動機づけ 5 社会のなかのスポーツ スポーツの誕生と発展 6 社会のなかのスポーツ 遊びとしてのスポーツ 7 社会のなかのスポーツ 文化としてのスポーツ 8 スポーツとマネジメント 9 スポーツにおけるモチベーションマネジメント 内容理論 10 スポーツにおけるモチベーションマネジメント 過程理論 11 スポーツにおけるリーダーシップ 特性論と行動論 12 スポーツにおけるリーダーシップ 変革型リーダーシップ 13 スポーツにおけるコーチング 14 幼児教育におけるコーチング 15 まとめ						
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■ 定期試験(筆記) 50% ■ 授業への取り組み・態度 25% ■ 提出物 25%						
教 科 書	「スポーツ科学概論—スポーツ・健康運動指導の基礎知識」、田中菊子編著、創成社						
参 考 書	使用しません。必要に応じてプリントを配布します。						
予 習 ・ 復 習 ・ 課 題 な ど	教科書の当該箇所を読み予習、復習を行うこと。						
関 連 科 目	体育実技						
質 問 受 付 の 方 法	授業の前後にいつでも受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	質問は常時受け付けますので、積極的に参加することを望みます。						

授 業 科 目 名	体育実技			教 員	木内 誠		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	実技
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	スポーツ、体育、運動						
授 業 の 概 要	豊かな生活を送るためにスポーツや運動は重要な役割を果たす。本授業では、ラグビー、バレーボール、バスケットボール、サッカー、アルティメットを教材に効果的な技術獲得のプロセスに関する学習、ライフスキルの獲得・学習、スポーツを楽しみながら心身の健康づくりを目指す。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】本授業では、多様なスポーツを楽しみながら健康な心身を育む。また、スポーツを通じリーダーシップやコミュニケーションなどのライフスキルの獲得・学習、技術獲得のプロセスを学ぶことをねらいとする。 【到達目標】スポーツを楽しみながら、スポーツに関する知識や技能を身につける。他者と協働するなかでリーダーシップやコミュニケーションスキルを身につける。						
授業の方法等	体育館において実技形式で行う。基礎的な技術やルール、競技特性を理解するための時間を確保し、そのうえでゲームを行う。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 授業内容・評価方法の説明 班分け 2 ラグビー 競技概要とルールの解説、パス 3 ラグビー 戦術の解説、パス、ゲーム 4 ラグビー ゲーム 5 バレーボール ルールの解説、パス 6 バレーボール サーブ、スパイク、ゲーム 7 バレーボール ゲーム 8 バスケットボール ルールの解説、パス、シュート 9 バスケットボール ゲーム 10 バスケットボール ゲーム 11 サッカー ルールの解説、パス、シュート 12 サッカー シュート、ゲーム 13 サッカー ゲーム 14 アルティメット(ニュースポーツ) 競技概要とルールの解説、パス、ゲーム 15 アルティメット(ニュースポーツ) パス、ゲーム						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(実技) 50% ■ 授業への取り組み・態度 50%						
教科書	使用しません						
参考書	使用しません						
予習・復習・課題など	体育講義で得た知識を実際のスポーツ活動の場で活かしてください。						
関連科目	体育講義						
質問受付の方法	授業の前後にいつでも受け付けます。						
履修上の注意	事故や怪我の防止のため、運動に適した服装・シューズで臨むこと(ジーンズなどは認めません)。						

授 業 科 目 名	保育英会話			教 員	中村 マンディ		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼稚園での英会話						
授 業 の 概 要	保育園や幼稚園で使うであろう英語の学習です。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 教科書に沿って内容を理解し、よく使う表現を反復練習して役割を決めて使い慣れるようにする。 【到達目標】 保育園、幼稚園に日本語が苦手な子どもがいた場合に英語を使って、少しでも対応できるようにする。						
授業の方法等	演習形式で授業を進めます。教科書に沿って授業を進めるので、教科書を持参してください。また、プリントを配布するので、メモや必要事項を書き込む必要があります。						
授 業 計 画	1 テキストに沿って進めます。第一回は「お名前を教えてください」というテーマで挨拶の学習 2 「園によろこそ！」というテーマで挨拶の学習 3 時間と数 4 地図と道案内 5 クラスメイトとの出会い 6 天候の挨拶 7 食事に関する表現 8 生活習慣の表現 9 子供同士の交流の表現 10 怪我と病気 11 電話での対応 12 遠足 13 赤ちゃんのケア 14 卒園 15 まとめ						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■その他〔小テスト〕20%						
教 科 書	「保育の英会話」萌文書林 赤松直子、久富陽子著						
参 考 書	特になし						
予習・復習・課題など	毎回教科書に沿って授業を進めます。予習として教科書を読んでおくこと。授業時によく使った表現の復習と配布したプリントの整理をしておくこと。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	授業前、授業終了後 随時						
履 修 上 の 注 意							

授 業 科 目 名	生命倫理			教 員	渡邊 智寛		
開 講 時 期	後期	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	生命の尊厳、生殖補助医療、遺伝子操作、子どもの自己決定、脳死・臓器移植、安楽死、エンハンスメント（能力増強）、動物の生命、環境問題						
授 業 の 概 要	生命に関わる倫理的問題の検討を通して、そこではどんな考え方が衝突しているのか、それらの考えがどんな背景をもっているのかを学びます。私たちにあって常に身近である生命の取り扱い、生命の価値、生命の終わり方といった問題を、自分の問題として深く考えます。周囲に散見されるこれらの問題は、多くの場合きわめて重要でありながら、しかし同時に、容易に解決することが困難でもあることを、深く理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】規範が複雑化し価値観が多様化した現代社会では、高度な倫理的判断力が求められます。機械的な対応に陥らず自ら思考し判断する力が欠かせません。専門的な知識を獲得したうえで、倫理的に思考し、判断し、応用する力を養成します。他人の意見を理解し尊重する態度も養います。 【到達目標】(1)生命倫理的諸問題を具体的かつ詳細に理解する。(2)各学説の意味と目的を理解する。(3)各問題に対し自分の意見を形成する。(4)その意見の根拠・理由を正確に説明する。						
授業の方法等	「授業形態」は「講義」となっていますが、学生グループによる調査や発表、全員参加の討論が中心となります。授業の終盤では教員による総括と解説がなされます。統計や新聞記事、ビデオ教材なども扱います。自分の意見とその理由などを論述する課題（授業内提出物）もあります。						
授 業 計 画	1 導入：生命倫理学とはなにか 2 生命の始まりに関わる問題 生殖補助技術、人工妊娠中絶 3 生命のはじまりに関わる問題 子供の選択、権利は誰のものか 4 生命の取り扱いに関わる問題 遺伝子操作、クローン人間 5 生命の取り扱いに関わる問題 遺伝子の選択と排除、ヒトの改良と強化 6 生命の質と自己決定に関わる問題 医師—患者関係、高度医療資源配分問題 7 生命の質と自己決定に関わる問題 インフォームド・コンセント、QOLとSOL 8 生命の終わりに関わる問題 脳死・臓器移植、安楽死・尊厳死、終末期医療 9 生命の終わりに関わる問題 死の概念、治療の概念、死を認める条件 10 人間以外の生命に関わる問題 命を食す、ペットを飼う、動植物を利用する 11 人間以外の生命に関わる問題 クジラ・イルカ漁の是非、普遍的道德と文化相対主義 12 環境と人間に関わる問題 自然とは何か、自然と人間の関係、未来に対する責任 13 環境と人間に関わる問題 ディープ/シャロー・エコロジー、生命圏全体主義 14 総論 生命倫理基本四原則＋自律尊重原理、功利主義、(新)優生主義 15 総論 自己決定、愚行権、パーソン論、動物・環境の権利						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）50％ ■ 授業内課題 50％						
教科書	なし						
参考書	調査・発表テーマに応じ、適宜教員が指示します。						
予習・復習・課題など	発表担当者（または担当グループ）は、事前に発表内容を調査し、資料を作成する必要があります。資料の作成方法、発表のコツなどについては、その都度アドバイスや指示を出します。						
関連科目	なし						
質問受付の方法	講義前後の時間帯に、教室または講師控室にて。 それ以外の連絡先・手段については授業で告知します。						
履修上の注意	普段から講義内容に関連するテレビ・新聞・インターネット等の情報になるべく多く接するよう心掛けてください。家族や友人と話し合うことなども強く薦めます。						

授 業 科 目 名	コンピュータ基礎演習			教 員	新井 誠		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	コンピュータ・インターネット・セキュリティ・ワード・エクセル・パワーポイント						
授 業 の 概 要	コンピュータの基礎的な使用法について学ぶ						
授業のねらいと到達目標	[ねらい] 現代社会ではコンピュータを用いた情報活用能力が求められている。この能力は、情報の収集、整理、分析、表現に大きく分けることができる。 [到達目標] この科目においては、これらの能力の基礎的な部分を得得することを目標とする。 具体的には次の4点である。 ・インターネットの利便性および危険性を踏まえて活用できること。 ・プレゼンテーションソフトを使って、説得力のあるプレゼンができること。 ・ワープロソフトを使って、図や表を取り込んだビジネス文書を作成できること。 ・表計算ソフトを使って、簡単なデータの加工ができること。						
授業の方法等	コンピュータを一人一台ずつ使用し、演習を中心行います。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション（コンピュータを上手に使えるようろう） 2 Windows 7を使ってみよう。 3 インターネットの仕組みを理解して、安全にコンピュータを使うための方法を身につけよう。 4 パワーポイント 2010を使ってプレゼンをしてみよう。 5 プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(1) 6 プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(2) 7 プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(3) 8 作成した文書を、パワーポイント使ってプレゼンをしてみよう。 9 ワード 2010を使って文書を作成してみよう。 10 ビジネス文書を作成してみよう。(1) 11 ビジネス文書を作成してみよう。(2) 12 ビジネス文書を作成してみよう。(3) 13 エクセル 2010を使ってデータ処理をしてみよう。 14 エクセルの基本操作を使ってデータ処理をしよう。 15 エクセルの便利な機能を使ってデータ処理をしよう。						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(実技) 40% ■ 授業への取り組み・態度 30% ■ 演習課題等の提出物 30%						
教 科 書	ミニマニュアルシリーズ Office 2010 (数研出版) ISBN:978-4-410-70260-0						
参 考 書	保育者のためのパソコン講座(萌文書林) ISBN:978-4-89347-190-1						
予習・復習・課題など	配布資料・課題表・演習課題出力結果は、各自ファイルにとじ復習し毎回の授業に持参する。課題表により次回課題に必要なデータを調べるなど予習をしておくこと。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	講義の前後に受付ける。						
履 修 上 の 注 意	演習データ保存用(講義中に指示する)には、各自のUSBメモリーを使用する。高等学校共通必修教科「情報」の習得済を前提として演習を進める。						

授 業 科 目 名	保育入門			教 員	相沢 和恵・今村 麻子・山村 穂高		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	本短大と山村国際高校との連携科目。山村国際高校での授業内で実施。保育所での体験学習。						
授 業 の 概 要	1 前半は、保育技術検定2級の筆記試験対策を行い、後半は現場での実践的な知識、技能を習得する。例えば絵本の読み聞かせ、手遊び、造形、子どもの病気やケガなどについて学習する。 2 夏季休業中には、保育所などでの体験学習を行う予定。						
授業のねらいと到達目標	【授業のねらい】 1 保育技術検定2級合格を目指し、言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の筆記試験で合格できるようにする。 2 保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形の技術等の基本的な技能を身につける。 3 保育所での体験学習を行い、保育現場の理解を深める。 【到達目標】 1 保育技術検定2級合格に必要な言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の知識を説明できる。 2 保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形技術などの基本的な技能を実際に活用することができる。 3 保育所での体験学習を通し、保育の現場の雰囲気を感じ、感じたことを言葉で表現することができる。						
授業の方法等	山村国際高校での授業20回(90分×20回)。保育所での体験学習半日×3日間。						
授 業 計 画	1	造形表現技術基礎知識の習得	16	保育実践－手遊び			
	2	言語表現技術基礎知識の習得	17	保育実践－造形その他			
	3	家庭看護技術基礎知識の習得	18	保育実践－子どもの病気、けが			
	4	造形表現技術基礎知識の習得	19	保育実践－絵本の読み聞かせ			
	5	言語表現技術基礎知識の習得	20	保育実践－手遊び			
	6	家庭看護技術基礎知識の習得	21	保育実践－手遊び			
	7	造形表現技術基礎知識の習得	22	保育実践－造形その他			
	8	言語表現技術基礎知識の習得	23	まとめ 確認テスト			
	9	家庭看護技術基礎知識の習得					
	10	それまでのまとめ、確認テストと体験学習準備					
	11	保育体験学習(近隣保育園にて)					
	12	保育体験学習(近隣保育園にて)					
	13	保育体験学習(近隣保育園にて)					
	14	保育実践－絵本の読み聞かせ					
	15	保育実践－手遊び					
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔筆記〕80% ■ 授業への取り組み・態度 20%						
教科書	指定なし						
参考書	指定なし						
予習・復習・課題など	プリントなどでその日の学習の復習を行うこと。また、そのプリントを活用して、次の授業の予習をしておくこと。						
関連科目	音楽、ピアノA・B、子どもの心理学、保育内容総論、保育原理、保育内容A、B、C、Dなど。						
質問受付の方法	授業時間中または授業前後で質問を受け付けます。						
履修上の注意	本短大に入学後、本学保育学科の必要卒業単位数に単位を算入します。保育所での体験学習は本短大の近隣の園で実施する予定。山村国際高校との日程の調整により、内容の変更があるので注意すること。						

授 業 科 目 名	基礎演習			教 員	相沢 和恵・橋本 夏夫 鴨志田 加奈・橋本 淳一		
開 講 時 期	通年	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、保育体験、ナチュラル保育検定、山短テキスト、個人面談						
授 業 の 概 要	体験学習、行事に向けた事前の準備・事後のふりかえりを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力、社会人としての使命感、望ましい職業観等について学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】体験学習、行事に関する事前学習・準備等、クラスゼミ学習等を通して、保育者としての専門性を高め、社会人としての使命感や自立心を向上させます。 【到達目標】(1)幼稚園、保育園や社会福祉施設の現場を理解できる。(2)幼児の観察・記録、保育の方法・技術の実際を知ると共に、園行事の企画・運営の基礎的な保育能力を身につけることができる。(3)体験学習を通して望ましい職業観・使命感等を身につけることができる。						
授業の方法等	学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
授 業 計 画	1	ガイダンス、履修登録		16	後期オリエンテーション、建学の精神表彰		
	2	クラスゼミ(仲間づくり)		17	クラスゼミ		
	3	クラスゼミ(委員等の決定、個人面談)		18	運動会参加		
	4	保育体験 事前学習		19	クラスゼミ		
	5	防災避難訓練、学生総会		20	教育実習事後個別面談		
	6	保育体験 (ふれあい体験)		21	実習報告会(1・2年合同)		
	7	保育体験 (ふれあい体験)		22	保育体験 (施設見学)		
	8	クラスゼミ(山緑祭準備)		23	クラスゼミ		
	9	保育体験 (園見学)		24	クラスゼミ		
	10	保育体験 (園見学)		25	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定		
	11	クラスゼミ(山緑祭準備)		26	クラスゼミ(クリスマス会準備)		
	12	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定		27	クリスマス会リハーサル		
	13	クラスゼミ(山緑祭準備)		28	クリスマス会振り返り		
	14	クラスゼミ(山緑祭片づけ)		29	後期試験に向けて、「建学の精神」等アンケート		
	15	体験学習オリエンテーション					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(行事欠席1回で10点減点、授業1回欠席で2点減点します。) 50% ■提出物 50%						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
予習・復習・課題など	様々な体験学習や行事、フィールドワークの事前・事後学習のため、授業時間外でもクラス・グループ・個人による活動・準備が必要となります。						
関連科目	スキルアップセミナー、実習指導、音楽表現、造形表現						
質問受付の方法	各担任に随時聞いてください。						
履修上の注意	基礎演習(第1時限)とスキルアップセミナー(第2時限)は、学習内容によって2限目と連続で実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。保育体験としてボランティア活動もあります。						

保育の本質・目的に関する科目

授 業 科 目 名	社会福祉			教 員	橋本 淳一		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	トゥギャザー・ウィズ・ヒム ノーマライゼーション アドボカシー 社会福祉基礎構造改革						
授 業 の 概 要	本講義では、保育が福祉の一分野であることを知り、社会福祉の法体系や行政組織だけでなく、保育や子育て支援、児童養護、年金や健康保険、生活保護、障がい児・者の実情や制度について、その理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】社会福祉と現実の保育実践がどう繋がっているのかを知るとともに、現代の社会福祉の考え方や体系を理解し、その法律や制度、専門的方法・技術など、保育現場にいかせるように学びます。 【到達目標】保育士国家試験の社会福祉分野の問題の6割正答レベルの社会福祉に関する知識の習得です。						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。						
授 業 計 画	1 社会福祉の理念と対象 2 日本の社会福祉のあゆみ 前近代から昭和初期まで 3 日本の社会福祉のあゆみ 戦後の社会福祉の展開 4 イギリスを中心とする欧米の社会福祉のあゆみ 5 社会福祉の法体系と実施機関 6 社会福祉と障害に関する海外事例研究 7 社会福祉と障害に関する海外事例研究 8 日本の社会保障・保険制度 年金・健康保険 9 日本の社会保障・保険制度 公的扶助・生活保護 10 高齢者の福祉 11 子どもと家族の福祉 12 障害をもつ人の福祉 13 地域の福祉とボラティア 14 授業のまとめ 15 問題演習						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）80% ■ 授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	馬場茂樹・和田光一編著『現代社会福祉のすすめ』学文社、2012年。（2,415円）						
参 考 書	『国民福祉の動向』（厚生統計協会）						
予習・復習・課題など	各回授業内容の教科書該当部分の予習・復習を期待する。						
関 連 科 目	児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可【Eメールアドレス = jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授 業 科 目 名	相談援助			教 員	室井 佑美		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	相談援助 ソーシャルワーク 面接 コミュニケーション 連携 倫理 自己理解 他者理解						
授 業 の 概 要	保育者として、現代社会の中で求められている相談援助の技術や技能を習得するため、ソーシャルワークの意義や歴史的変遷、方法と技術等、専門的な理論に基づいて学びます。さらに、相談援助の技術について、個別援助技術(ケースワーク)を中心に用いて、他者理解、自己理解を深めながら学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者として子どもがかかわる家庭、社会等、環境に対する相互作用を支援し、保護者や地域の育児力向上が望めるよう、相談援助の理論・技術を習得する。 【到達目標】(1)ソーシャルワーク理論に基づき、「相談援助」とは何か理解する。(2)保育者として、課題を整理し問題解決に必要な支援を具体的に考えられる。(3)専門職としての職業倫理を踏まえて他者および自己理解を深め、配慮した態度・言動をとれる。(4)記録の意義を理解して、平等かつ明瞭な文章を書ける。						
授業の方法等	演習および講義での形式。特に演習では自ら考え、積極的に発言、主張、行動していくことを求めます。また、視聴覚教材の使用、グループワーク等も授業内で行います。授業内課題、レポート課題の提出を求めます。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション 相談援助とは何か(定義と内容)					
	2	相談援助の理論・意義・機能					
	3	相談援助の対象と過程					
	4	相談援助の実践モデルとアプローチ方法					
	5	自己理解と他者理解(価値観や判断の基準を考える)					
	6	コミュニケーション技法と面接技法 (座り方・位置・目線・姿勢・うなづきと共感・傾聴)					
	7	コミュニケーション技法と面接技法 (話題の展開・反射・要約・支持と相手への理解)					
	8	相談援助の方法と技術 (虐待・障がい・保育相談事例に基づいたケースワーク)					
	9	相談援助における記録と評価					
	10	相談援助における関係機関との協働、多様な専門職との連携					
	11	相談援助の方法と技術 (障がい・保育相談事例に基づいたグループワーク)					
	12	相談援助の方法と技術 (事例に基づいたコミュニティワーク)と社会資源の活用、調整、開発					
	13	相談援助の方法と技術 (関連した援助技術の理解)					
	14	相談援助における倫理基盤(保育士・社会福祉士の倫理綱領を中心に)					
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(筆記) 35% ■ 授業への取り組み・態度 30% ■ 提出物 35%						
教科書	「相談援助 保育相談支援」 笠師千恵・小橋明子著 中山書店 2500円						
参考書	保育小六法、その他授業中に適宜紹介、資料を配布します。						
予習・復習・課題など	授業中は、教科書・配布プリント等には書き込み、授業後に学んだことを逐次整理します。演習に対して真剣に行うことで、技術が向上し、自己省察も深まります。意識高く望んでください。授業内で提示される課題は資料や文献を探し、自ら調べた後に作成してください。						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 保育・教育相談の方法 等						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で対応します。						
履修上の注意	配布プリント等には積極的に書き込みを行い、ファイルに整理する。 やむを得ず欠席した場合、翌日には研究室に資料受取り、課題の把握、授業内容を確認してください。						

授 業 科 目 名	児童家庭福祉			教 員	橋本 淳一		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	保育 保育士 福祉 家庭 子育て支援						
授 業 の 概 要	現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史的変遷、児童家庭福祉の一分野としての保育、児童の人権、児童家庭福祉の制度や実施体系、多様な保育ニーズや次世代育成支援等児童家庭福祉の現状と課題、動向と展望について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育が福祉の一分野であることを理解し、保育・子育て支援を中心に、児童・家庭に関する実情や制度について、福祉の観点から捉え直すことです。 【到達目標】保育士国家試験の児童家庭福祉分野の問題の6割正答レベルの児童家庭福祉に関する知識の習得です。						
授 業 の 方 法 等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション～児童・家庭・福祉～ 2 児童家庭福祉の現代的背景と保育士の役割 3 子どもの権利とそれを守る取り組み 4 世界における子どもの権利の実情 5 世界における子どもの権利の実情 6 児童家庭福祉の主要な法律 7 児童福祉の行政と実施機関 8 児童家庭福祉の施設と専門職 9 児童養護の意味と施設 10 児童養護と援助技術 11 少子化と子ども・家庭支援 12 保育所と子ども・子育て新制度 13 障がいのある子どもの福祉 14 授業のまとめ 15 問題演習						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）80％ ■ 授業への取り組み・態度 20％						
教 科 書	馬場茂樹・和田光一編著『現代児童家庭福祉のすすめ』学文社、2008年。（2,310円）						
参 考 書	『国民福祉の動向』（厚生統計協会）						
予習・復習・課題など	各回授業内容の教科書該当部分の予習・復習を期待する。						
関 連 科 目	社会福祉 社会的養護 社会的養護内容 相談援助 家庭支援論						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可 【Eメールアドレス = jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授 業 科 目 名	保育原理			教 員	室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	保育所保育 養護 教育 保育思想 保育史 保育所保育指針 発達 保育士						
授 業 の 概 要	保育の意義、基本、方法など保育の原理を学びます。さらに、日本と諸外国の保育の思想、歴史を知り、保育に関連した制度や課題を把握します。そのうえで、「保育とは何か」という保育の本質をとらえ、考えていきます。また、保育に関する問題意識をもち、子どもへの理解、保育現場に対する理解等、様々な力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士資格を取得するための必須科目であり、保育士の専門性に対する根本を学ぶ。保育の本質を考察することで、保育者としての資質向上を目指す意欲を養う。 【到達目標】 保育所保育指針、保育内容と方法について説明することができる。保育の思想や歴史の変遷をとらえ、現在の保育施策の背景と現状を説明することができる。そのうえで、保育の意義を示しながら、保育の課題に主体的に考えることができる。						
授業の方法等	講義形式。視聴覚教材の使用、グループワーク等も授業内で一部行います。また、レポート課題、ポートフォリオの提出等を求めます。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育とは何か(理念と概念) 2 保育所に関する法的・制度的位置づけ、保育士資格について、保育に関する統計 3 幼稚園に関する法的・制度的位置づけ、幼稚園教諭免許状について、幼児教育に関する統計 4 認定こども園に関する法的・制度的位置づけ、保育教諭について、認定こども園に関する統計 5 地域型保育事業(小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育)の制度的位置づけ、最低基準 6 各保育機関の共通点と相違点、まとめ 7 日本の保育施策の動向(子ども・子育て支援新制度を中心に) 8 子育て支援・保護者支援 9 特色ある保育内容、保育方法 10 海外の子育て、保育事情(北欧、ヨーロッパ、北米、アジアを中心に) 11 日本の子育て家庭を巡る現状と課題、まとめ 12 諸外国における保育・教育思想と歴史的変遷 13 日本における保育・教育思想と歴史的変遷 14 保育所保育指針、幼稚園教育要領等の歴史的変遷と改定について 15 保育の未来に対する課題と展望、まとめ						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔筆記〕 50% ■ 授業への取り組み・態度 10% ■ 提出物 40%						
教 科 書	「Workで学ぶ保育原理」 佐伯一弥・金瑛珠企画・編集 わかば社 1400円 保育所保育指針解説書 幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説						
参 考 書	保育小六法、その他授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	授業中は配布するプリント等には書き込みを行い、授業後に学んだことを整理してください。専門用語を辞典で調べる、制度に関して厚生労働省のホームページを参照することなどして、主体的に知識を得る学習習慣を身に付けてください。授業内で提示される課題は、資料や文献を探して調べた後、決められた期日を守ってレポートを作成してください。						
関 連 科 目	保育・教育職の研究 教育原理 保育内容総論 保育・教育課程論 など						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	配布プリント等には積極的に書き込みを行い、ファイルに整理する。 やむを得ず欠席した場合、翌日には研究室に資料受取り、課題の把握、授業内容を確認してください。						

授 業 科 目 名	社会的養護(1年生)			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	社会的養護、児童虐待、家庭養護、里親、権利擁護						
授 業 の 概 要	虐待、育児放棄など様々な理由で社会的支援を受けながら生活している子どもたちとその家族を適切に支援するために必要となる援助者としての姿勢、援助計画の立て方、援助の進め方、援助において活用できる社会的資源などについて学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 社会的養護を担う専門職の一員である保育士に必要なと考え方や姿勢、制度とその活用の在り方を習得します。 【到達目標】 (1)現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。(2)社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する。(3)社会的養護の制度や実施体系等について理解する。(4)社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。(5)社会的養護の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式が中心となりますが、ビデオ視聴や新聞記事などをもとにグループ討議を行います。						
授 業 計 画	1 社会的養護の理念と概念 2 社会的養護の歴史的変遷 3 児童家庭福祉の一分野としての社会的養護 4 児童の権利擁護と社会的養護 5 社会的養護の制度と法体系 6 社会的養護の仕組みと実施体系 7 家庭養護と施設養護 8 社会的養護の専門職・実施者 9 施設養護の基本原則 10 施設養護の実践 11 施設養護とソーシャルワーク 12 施設等の運営管理の現状と課題 13 倫理の確立 14 被措置児童等の虐待防止の現状と課題 15 社会的養護と地域福祉の現状と課題						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(筆記) 60% ■ 授業への取り組み・態度 10% ■ 提出物 30%						
教科書	「基本保育シリーズ 社会的養護」相澤・村井編、中央法規、2,000円(税別)						
参考書	「社会的養護の課題と将来像」児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会・社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会平成23年7月						
予習・復習・課題など	【予習】 授業は教科書に沿って進めるので、必ず目を通しておくこと。 【復習】 学習ノートの作成と整理						
関連科目	社会的養護内容、児童家庭福祉、施設実習						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	里親制度、児童虐待などに関する新聞記事をスクラップし、記事の中の専門用語や記事に対する自身の考えをまとめて社会的養護に対する理解を図るようにしてください。						

授 業 科 目 名	社会的養護(2年生)			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	社会的養護、児童虐待、家庭養護、里親、権利擁護						
授 業 の 概 要	虐待、育児放棄など様々な理由で社会的支援を受けながら生活している子どもたちとその家族を適切に支援するために必要となる援助者としての姿勢、援助計画の立て方、援助の進め方、援助において活用できる社会的資源などについて学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 社会的養護を担う専門職の一員である保育士に必要な考え方や姿勢、制度とその活用の在り方を習得します。 【到達目標】 (1)現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。(2)社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する。(3)社会的養護の制度や実施体系等について理解する。(4)社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。(5)社会的養護の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式が中心となりますが、施設実習 の体験をもとにグループ討議や事例検討を行います。						
授 業 計 画	- 社会的養護の理念と概念 - 社会的養護の歴史的変遷 - 児童家庭福祉の一分野としての社会的養護 - 児童の権利擁護と社会的養護 - 社会的養護の制度と法体系 - 社会的養護の仕組みと実施体系 - 家庭養護と施設養護 - 社会的養護の専門職・実施者 - 施設養護の基本原則 - 施設養護の実践 - 施設養護とソーシャルワーク - 施設等の運営管理の現状と課題 - 倫理の確立 - 被措置児童等の虐待防止の現状と課題 - 社会的養護と地域福祉の現状と課題						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(筆記) 60% ■ 授業への取り組み・態度 10% ■ 提出物 30%						
教科書	「基本保育シリーズ 社会的養護」相澤・村井編、中央法規、2,000円(税別)						
参考書	「社会的養護の課題と将来像」児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会・社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会平成23年7月						
予習・復習・課題など	【予習】 授業は教科書に沿って進めるので、必ず目を通しておくこと。 【復習】 学習ノートの作成と整理						
関連科目	社会的養護内容、児童家庭福祉、施設実習						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	里親制度、児童虐待などに関する新聞記事をスクラップし、記事の中の専門用語や記事に対する自身の考えをまとめて社会的養護に対する理解を図るようにしてください。						

授 業 科 目 名	教育原理			教 員	新井 英人		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	学校教育、教育思想、教育史、学習指導要領、教育法規						
授 業 の 概 要	「教育は人なり」と言われる。教育の目的や歴史を踏まえながら、人間形成において最も重要な乳幼児期の保育に携わる保育士・幼稚園教諭に必要な、学校教育に関わる理念、教育制度、学習指導要領、教育課程、学習指導等の基礎的な知識を学習する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】教育の目的や意義・方法等について学習し、保育士・幼稚園教諭として必要な基本的な知識や考え方を習得する。 【到達目標】(1)教育の意義・目的について理解する。(2)学校教育の歴史と制度について理解する。(3)教育の制度について理解する。(4)教育実践のさまざまな取組について理解する。(5)教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式で行う。できるだけ具体的な内容を提示したり、レポートの提出を行ったりして理解を深めていく。また、最近の教育の動向や様々な教育問題等についても学んでいく。						
授 業 計 画	1 教育とは何かを考える 2 教育の目的を考える 3 子どもの権利としての教育と福祉 4 日本における就学前教育と児童福祉 5 日本の教育の歴史 6 日本の教育の歴史 7 近代日本までの教育理論 8 日本の幼児教育理論 9 諸外国における教育観と子ども観の変遷 10 日本の教育制度 11 教育行政の目的と組織 12 保育内容の変遷 13 教育実践の基礎理論 14 教育実践の多様な取り組み 15 生涯学習社会と学校教育						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）60% ■ 授業への取り組み・態度 10% ■ 提出物 30%						
教 科 書	保育士養成課程「教育原理」小田豊監修、野尻裕子・栗原泰子編著、光生館						
参 考 書	文部科学省HP						
予習・復習・課題など	【予習】学校教育に関する新聞記事を読み自分の考えを記述する。 【復習】学習ノートの作成と整理						
関 連 科 目	保育原理						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等に対応する。						
履 修 上 の 注 意	講義の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 科 目 名	特別支援教育論			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	前期	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	特別支援教育、就学支援、特別支援学校・学級、通級指導教室、特別支援教育コーディネーター						
授 業 の 概 要	特別支援教育は、特殊教育の対象であった障がいに加え、LD、ADHD、高機能自閉症等も対象としています。授業では、子ども達一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるために適切な指導や支援を行う特別支援教育の意義、対象となる障がいに関する基礎的な知識、理解、教育の現状について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】特別支援教育の意義や制度等について理解し、特別な教育的ニーズのある子ども達を支援するために必要な基礎的・基本的な知識や考え方を習得します。 【到達目標】(1)特別支援教育の理念や基礎的な体系を理解する。(2)特別支援教育の指導・支援内容と実践方法を理解する。(3)個に応じた指導・支援の方法について理解する。(4)特別支援教育の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義形式で行います。授業では障がいのある児童生徒の支援の在り方等の実際について理解を図るために、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。						
授 業 計 画	1 特別支援教育の現状 2 視覚障がい児の理解と指導の実際 3 聴覚障がい児の理解と指導の実際 4 知的障がい児の理解と指導の実際 5 肢体不自由児の理解と指導の実際 6 病弱児の理解と指導の実際 7 重複障がい児の理解 8 LD児の理解 9 ADHD児の理解 10 自閉症児の理解 11 情緒障害児の理解 12 特別支援学校の教育の実際 13 特別支援学級の教育の実際 14 通級による指導の実際 15 小中学校等における特別支援教育の実際						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）60％ ■ 授業への取り組み・態度 10％ ■ 提出物 30％						
教 科 書	必要に応じてプリントを配布します。						
参 考 書	文部科学省及び国立特別支援教育総合研究所のHPにある資料						
予習・復習・課題など	【予習】提出課題の調査・障がい児等に関する新聞記事を読み自分の考えを記述する。 【復習】学習ノートの作成と整理						
関 連 科 目	障がい児保育						
質 問 受 付 の 方 法	適宜研究室等で対応します。						
履 修 上 の 注 意	講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授 業 科 目 名	保育・教育職の研究			教 員	野口 一夫		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育者(保育士・幼稚園教諭) 今求められる資質・能力 幼保連携型認定こども園 論作文の書き方						
授 業 の 概 要	保育者としての専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎となる役割や資格、そして資質・能力のあり方を習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育士や幼稚園教諭を目指すために、保育者とは何か、今保育者に求められている資質や能力は何か、そしてその職務の内容等について、関連法規等を踏まえて検証することができる。 【到達目標】保育者(保育士や幼稚園教諭)に対する意識を高め、その違いや共通点を明らかにし、さらに保育者としての専門性の高揚を図るのが目標となる。						
授業の方法等	わかりやすく理解するため、「聞く」「書く」「質問」「演示」等のメリハリを工夫し、保育所や幼稚園を取り巻く国の動向や公務員試験の現状等をリアルタイムに提供						
授 業 計 画	「保育」のもつ意味 ～先人にみる「子ども観」 幼保連携型認定こども園 - 保育士と幼稚園教諭の違い ～本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 - 保育者の要件・地位 ～T(時)P(場所)O(場合) 江戸しぐさ - 保育者としての免許・資格 ～職業病 - 保育士の専門性と役割 ～保育の基本と役割 省察とは - 幼稚園教諭の専門性と役割 ～地方公務員法(服務) - 保育士・幼稚園教諭の職務の具体的な内容 ～5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) - 最近の乳幼児・児童の傾向 ～LD、ADHD、アスペルガー症候群等 - 様々な保育課題と対応の在り方 1 ～夜尿症、じょうずなほめ方・しかり方等 - 様々な保育課題と対応の在り方 2 ～しつけ、虐待、放任、過保護等 - 今求められる理想の保育者像 ～都市化、少子化、核家族化等 今、保育者に求められる資質・能力 ～組織に馴染む - 保育所・幼稚園と家庭の役割 ～ドロシー・ロー・ノルト - 適性の理解と進路選択 ～本年度の公務員試験(埼玉・東京・社会福祉事業団等) - 公務員等試験にみる昨今の就職状況 ～論作文の書き方						
成績評価の基準と方法	■定期試験(筆記) 60% ■授業への取り組み・態度(欠席は減点対象) 10% ■提出物(レポート) 30%						
教 科 書	不使用						
参 考 書	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「認定こども園 教育・保育要領」 保育者論(建帛社)						
予習・復習・課題など	毎回レポートを提出し、採点して次回に返却。確認してファイルに保管。特に欠席した場合は担当教員に相談し、適切な処置を早急にとること。						
関 連 科 目	保育原理 教育原理						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	レポートは毎回提出 レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意						

保育の対象の理解に関する科目

授 業 科 目 名	保育の心理学			教 員	今村 麻子		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	子どもの発達、感情・運動・言葉、基本的信頼感、愛着、発達課題、発達障害、生涯発達						
授 業 の 概 要	子どもの発達の基礎を学び、保育実践と関連付けながら理解する。生涯発達の視点から、子どもが人と相互に関わりながら発達していくことを理解し、保育のあり方、保育における留意点を考えていく。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの発達に関する心理学の知識を身に付ける。子どもや保護者への望ましいかかわり、保育の環境についての知識を身に付ける。 【到達目標】基礎的な子どもの発達過程について理解し、説明できる。子どもや保護者への望ましいかかわり方や環境について基本的なことを説明できる。						
授業の方法等	テキストに沿って、事例検討なども交えながら、考察を進めていく。						
授 業 計 画	1 保育と心理学（子どもの発達を理解することの意義） 2 保育と心理学（保育実践の評価と心理学） 3 保育と心理学（発達観、子ども観と保育観） 4 子どもの発達理解（子どもの発達と環境） 5 子どもの発達理解（感情の発達と自我） 6 子どもの発達理解（身体的機能と運動機能の発達） 7 子どもの発達理解（知覚と認知の発達） 8 子どもの発達理解（言葉の発達と社会性） 9 個性を理解する 10 人との相互的かかわりと子どもの発達（基本的信頼関係の獲得） 11 人との相互的かかわりと子どもの発達（他者とのかかわりと社会的相互作用） 12 生涯発達と初期経験の重要性（胎児期から乳幼児期までの発達や学びの特性） 13 学童期から青年期の発達理解 14 青年期、老年期の発達理解 15 子育て支援とネットワーク						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）40% ■ 授業への取り組み・態度 30% ■ 提出物 30%						
教 科 書	「保育の心理学 実践につなげる、子どもの発達理解」井戸ゆかり編著 萌文書林						
参 考 書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	指定された範囲のテキストを読んでおくこと。事例考察等の課題作成を課すことがあります。						
関 連 科 目	相談援助 保育の心理学 保育・教育相談の方法						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。授業実施場所の変更や準備物について指示する場合があります。						

授 業 科 目 名	保育の心理学			教 員	土屋 和子		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	子どもの発達、経験、学習、発達障害、発達援助、生きる力、保育実践						
授 業 の 概 要	1. 保育の心理学 をふまえて、子どもの心身の発達と保育実践について理解を深めます。 2. 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解します。 3. 保育における発達援助の狙いや具体的方法について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの心身の発達と経験や学習の過程について理解する。保育の具体的場面での子どもの気持ちや状態を捉え、声掛けや発達援助ができるようになる。発達上のトラブルを抱える子に気づき、保護者、子どもに適切な関わりができるようになる。 【到達目標】子どもの心身の発達に関わる事柄(環境、経験、発達トラブルの有無等)について説明できること。保育において、子どもや集団に何が必要かを見極めて具体的方法を説明できること。						
授業の方法等	心理学と保育の関係に焦点を当てた講義と参加型のグループワークを中心とする授業。授業の最初に前回の学びの振り返りを行う。また、授業後、毎回、授業で何を学んだかを振り返る作業を行う。課題を持ち帰り、作業結果を共有して学びを深めていく。						
授 業 計 画	1 子ども理解における発達の把握 (1) ～ 発達を学ぶことはなぜ重要か 2 子ども理解における発達の把握 (2) ～ 乳幼児期の発達の特徴 3 子ども理解における発達の把握 (3) ～ 子どもを理解する方法 (心理検査) について 4 子ども観/発達観について考える ～ 子どもの最善の利益 5 基本的信頼と心の理論 6 生活や遊びを通じた学びの過程 (1) ～ 3歳児クラスの発達と保育実践 (DVD視聴) 7 生活や遊びを通じた学びの過程 (2) ～ 4歳児クラスの発達と保育実践 (DVD視聴) 8 生活や遊びを通じた学びの過程 (3) ～ 5歳児クラスの発達と保育実践 (DVD視聴) 9 発達に課題を持つ子どもの困り感と保育実践 (1) ADHDの子ども 10 発達に課題を持つ子どもの困り感と保育実践 (2) ASDの子ども 11 発達に課題を持つ子どもの困り感と保育実践 (3) 観察・省察と保育カンファレンス 12 ワーク・事例分析 (1) 事例による課題検討 ～ 発達援助における協働 ～						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験 (筆記) 50% ■ 授業への取り組み・態度 30% ■ 提出物 10% ■ その他 (発表) 10%						
教 科 書	『理論と子どもの心を結ぶ保育の心理学』 大橋喜美子編著 保育出版社						
参 考 書	『育ちあう乳幼児心理学』 心理化学研究会 (編) 有斐閣コンパクト						
予習・復習・課題など	復習を重点に行ってください。授業に積極的に参加すること						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	毎回配布する振り返りシートを活用すること						
履 修 上 の 注 意	人に接していく仕事に就くことが前提なので、誠実な態度、素直な態度でいられない場合には単位修得は難しいと理解してください。						

授 業 科 目 名	子どもの保健			教 員	田中 直代・相沢 和恵・山村 穂高		
開 講 時 期	通年	配当年次	1	単位数	4	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	子どもの心身の健康、発達と保健、疾病、予防、子どもの精神保健、園での衛生管理、安全管理						
授 業 の 概 要	1 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 2 子どもの身体発育や生理的機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。 3 子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。 4 子どもの精神保健とその課題等について理解する。 5 保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解する。 6 施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ・子どもの心身の健康増進の意義、子どもの発達と保健の関係、疾病と保育の関係を理解する。 ・園や施設での衛生管理、安全管理の重要性を認識するとともに、現場で役立てられる知識を習得する。 【到達目標】 ・子どもの健康と保健の意義について理解する。 ・子どもの心身の発達と保健について理解する。 ・子どもの疾病と保育について理解し、概要を説明できる。 ・子どもの心の健康とその課題に関する知識を理解し、自分が子どものためにできることを説明できる。 ・保育環境整備、衛生管理、安全管理の重要性を、キーワードを使って説明できる。 ・職員間の連携や組織について知り、家庭、専門機関、地域との連携の仕組みを理解する。						
授業の方法等	講義中心。次時の講義内容を知らせますので、予習を課題とする。年に数回のノートチェックと、課題レポート提出とする。前期：田中(18回) 後期：相沢(8回)・山村(4回)が担当する。						
授 業 計 画	1	子どもの保健と健康の意義 保健活動とは	16	感染症 (2)細菌感染			
	2	子どもの保健と健康の意義 健康の概念と健康指標	17	感染症 (3)ウイルス感染			
	3	子どもの発育・発達と保健 (1)人の成り立ち	18	学習の振り返りとまとめ			
	4	子どもの発育・発達と保健 (2)身体発育	19	保育環境整備と保健			
	5	子どもの発育・発達と保健 (3)生理機能の発達	20	保育現場における衛生管理			
	6	子どもの発育・発達と保健 (4)運動機能・精神機能	21	保育現場における事故防止			
	7	子どもの健康状態の把握 (1)健康観察	22	保育現場における安全対策ならびに危機管理			
	8	子どもの健康状態の把握 (2)慢性疾患	23	けがや事故への対応			
	9	先天異常	24	職員間の連携と組織的取り組み			
	10	慢性疾患 (1)栄養代謝異常 重症度疾患	25	母子保健対策と保育			
	11	慢性疾患 (2)脳神経と神経系疾患	26	家庭・専門機関・地域との連携			
	12	小児期からの発育と生活習慣病	27	子どもの心の健康と発達			
	13	子どもの疾病予防と適切な対応	28	愛着と愛着障害			
	14	免疫とアレルギー疾患	29	心身症と習癖			
	15	感染症 (1)総論と予防	30	まとめ			
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔筆記〕90％ ■ 授業への取り組み・態度・提出物(欠席は減点の対象) 10％						
教科書	「図表で学ぶ子どもの保健」 編集：加藤忠明他 建帛社、2013年、2,400円＋税						
参考書	「子どもの病気の地図帳」 監修：鴨下重彦他 講談社、2012年、4,000円＋税						
予習・復習・課題など	【予習】教科書の該当項目を読んでおく。指定した部分の予習を行う。年数回のレポートを提出する。 【復習】学習ノートは全ての配布資料をA4判2穴ファイルに整理と保存。後日ノート提出。復習テスト有り。						
関連科目	子どもの保健						
質問受付の方法	田中：授業中、講義前後で随時受け付けます。 相沢：随時受け付けます。 山村：h_yamamura@yamamuragakuen.com 火曜日を除く昼休み 他通常の勤務時間内随時。						
履修上の注意	保育士資格必修科目なので、遅刻・欠席等をしないこと。教科書とノートを随時使用。講義等の記録、配布した印刷物は、A4判2穴ファイルに学習ノートとして整理すること。第1～18回分は子どもの保健 に続ける。						

授 業 科 目 名	子どもの保健			教 員	田中 直代		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	子どもの健康評価、養護、応急手当、安全管理、保健活動、健康教育						
授 業 の 概 要	日々の保育の中で、子供の健やかな成長を支援するための、子どもの健康評価、乳幼児の養護、病気やけがの予防と応急手当が子どもの健康や安全を促す保健活動であることを理解し、技術を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの保健Iで学んだ知識を基に、保育実習に必要な子どもの健康と安全に関する具体的な支援技術を身につける。 【到達目標】 1.子どもの健康及び安全に係る保健活動の計画及び評価について学ぶ。 2.子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考える。 3.子どもの疾病とその予防及び適切な対応について具体的に学ぶ。 4.救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に学ぶ。 5.現代社会における心の健康問題や地域保健活動について理解する。						
授業の方法等	講義と演習、課題レポート、グループワーク・発表、						
授 業 計 画	1 子どもの保健活動の計画と評価(講義) 2 子どもの健康評価、観察のポイント、身体測定や体温測定の方法(演習) 3 子どもの保健と環境(1)(講義) 4 子どもの保健と環境(2)乳児の抱き方、衣服の選び方と着せ方(演習) 5 子どもの保健と環境(3)沐浴、おむつ交換(演習) 6 子どもの保健と環境(4)口腔ケア:歯みがき(演習) 7 感染症の予防と対応(講義)ビデオ視聴 8 感染管理の基本:予防接種、手洗い(演習) 9 事故防止と安全管理 病気やけがの対応(講義)(演習) 10 子どもの心の健康と地域の保健活動(講義) 11 保健計画と安全管理、健康教育、保健だより作成の調べもの(講義とグループワーク) 12 保健計画と安全管理、健康教育、保健だより作成(グループワーク) 13 保健計画と安全管理、健康教育、保健だより(グループ発表) 14 保健計画と安全管理、健康教育、保健だより(グループ発表)と学習の振り返りとまとめ						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔筆記〕80% ■ 授業への取り組み・態度(欠席は減点の対象とする。)10% ■ 提出物 10%						
教 科 書	「新版 子どもの保健」編集:佐藤益子・中根淳子 ななみ書房, 2017年. 2200円 + 税						
参 考 書	「子どもの保健演習ノート」監修:榊原洋一 診断と治療社, 2016年. 2000円 + 税						
予習・復習・課題など	【予習】教科書の該当項目を読んでおく。指定した部分の予習を行う。年数回のレポートを提出する。 【復習】学習ノートは全ての配布資料をA4判2穴ファイルに整理と保存。後日ノート提出。						
関 連 科 目	「乳児・小児救命法」「家庭支援論」「子どもの保健I」						
質 問 受 付 の 方 法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	保育士資格必修科目なので遅刻・欠席等をしないこと。「子どもの保健I」のA4判2穴ファイルに続けて整理、保存すること。教科書とファイルを随時使用。演習は髪をまとめる、爪を切る、動きやすい服装で受講する。 「子どもの保健」のA4判2穴ファイルに続けて整理、保存すること。教科書とファイルを随時使用。						

授 業 科 目 名	子どもの食と栄養			教 員	田中 直代		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	子ども、栄養、授乳、離乳、間食、給食、食育、疾患と栄養						
授 業 の 概 要	子どもの健康と食生活の意義、発育・発達と食生活との関連、食物の消化・吸収、食事習慣や生活習慣の確立、授乳や離乳、食育などを中心に学習する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの各発達段階における食と栄養の重要性を理解する。子どもの食生活の現状と課題を把握する。食の伝承を受け継ぎ豊かな食生活を伝える担い手になれるよう食に関心を持つ。また、日々の暮らしで適切な食材やメニュー選択をすることで健康な食習慣を確立する実践的な力を身につける。 【到達目標】 1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 3. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化との関わりの中で理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。						
授業の方法等	講義と演習（調理実習有り）						
授 業 計 画	1 子どもの健康と食生活の意義 食事バランスガイド 2 栄養・食に関する基本的知識 (1)消化吸収、栄養の基礎知識 3 栄養・食に関する基本的知識 (2)タンパク質の代謝、糖質の代謝 4 栄養・食に関する基本的知識 (3)脂質の代謝 5 栄養・食に関する基本的知識 (4)ビタミンの代謝、ミネラルの代謝、水分 食物繊維 6 栄養・食に関する基本的知識 (5)妊娠期、授乳期の食事－食事摂取基準 食事バランスガイド ビデオ視聴 7 栄養・食に関する基本的知識 (6)思春期：3・1・2お弁当法（演習） 8 子どもの発育・発達と栄養・食生活 (1)乳幼児期の咀嚼の発達 9 子どもの発育・発達と栄養・食生活 (2)乳児期の栄養 10 子どもの発育・発達と栄養・食生活 (3)乳幼児期の栄養 11 乳児期：調乳（演習） 12 乳幼児期：離乳食（演習） 13 児童福祉施設における食と栄養（講義） 14 食の安全－食中毒と感染症（講義） 15 特別な配慮を要する子どもの食と栄養－食物アレルギー、疾病と体調不良、障害児（講義）						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）60％ ■ 授業への取り組み・態度（欠席は減点対象）10％ ■ 提出物（演習について3回）30％ 出席は教科書、ファイルを確認する。						
教 科 書	「子どもの食と栄養」児玉浩子 中山書店、2014年、2000円＋税						
参 考 書	「新版 子どもの食生活」上田玲子 ななみ書房、2015年、2400円＋税 「授乳・離乳の支援ガイド 実践の手引き」(株)母子事業団、2008年、3500円＋税						
予習・復習・課題など	【予習】教科書の該当項目を読んでおく。演習は授業前に予習を行い、スムーズに学習できるよう努める。 【復習】学習ノートは全ての配布資料をA4判2穴ファイルに整理と保存。後日ノート提出						
関 連 科 目	特になし						
質 問 受 付 の 方 法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	保育士資格必修なので遅刻・欠席等をしないこと。A4判2穴ファイルに学習ノートとして整理、保存すること。教科書とファイルを随時使用。演習は髪をまとめる、爪を切る、適切な服装で受講する。エプロンと三角巾とお弁当箱を使用。						

授 業 科 目 名	家庭支援論			教 員	北條 直子		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	子どもへの保育(ケア) 保護者支援(傾聴と信頼) 子育て支援 コミュニケーション力 関連機関との連携						
授 業 の 概 要	心豊かな子どもの成長を促す家族の役割を理解し、現在家庭の状況・問題や課題を踏まえ、保育者としての支援方法や具体的ななかかわり方を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 心豊かな子どもを育てる為に、保育者と保護者との信頼関係を築くことは、保育者として基本であることを自覚する。信頼関係を築く具体的な支援方法を身につける。 【到達目標】 子どもへの保育課題、保護者の支援法方法を様々な事例を通して、学生なりに解決方法の見通す。 傾聴の必要さを自覚し保護者に寄り添う行動や言動を身につける。						
授業の方法等	講義 事例を通してのグループ協議・発表 課題に沿ったレポート提出						
授 業 計 画	1	オリエンテーション(授業の流れ及び目標説明) 家庭支援の基本(事例から)					
	2	保護者理解と支援「あなたならどう感じ、対応する？」事例から					
	3	保護者理解と支援「あなたならどう感じ、対応する？」事例から					
	4	家庭支援とは何か？保護者のニーズ・困りごとを探り対応方法を考える					
	5	保護者との適切ななかかわり方(傾聴と信頼関係)を探る。事例を通して協議					
	6	保護者との適切ななかかわり方(傾聴と信頼関係)を探る。事例を通して協議					
	7	保護者の心に寄り添うとは？事例を通して協議					
	8	保護者の心に寄り添うとは？事例を通して協議					
	9	保育士同士のコミュニケーションを高める。ジェノグラムを使って話し合う (必ず司会、発表、記録役を分担する)					
	10	保育士同士のコミュニケーションを高める。ジェノグラムを使って話し合う (必ず司会、発表、記録役を分担する)					
	11	グループワーク各自事例を持ちより対応と支援方法を探る (必ず司会、発表、記録役を分担する)					
	12	グループワーク各自事例を持ちより対応と支援方法を探る② (必ず司会、発表、記録役を分担する)					
	13	グループワーク発表					
	14	グループワーク発表					
	15	関連機関との連携 授業まとめ					
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(筆記) 60% ■ 授業への取り組み・態度 10% ■ 提出物(レポート) 20% ■ その他(グループ学習内での自己発表) 10%						
教科書	「保育士・幼稚園教諭のための保護者支援」 永野典詞・岸本元気著 風鳴舎1,700円＋税 * 毎回持参する						
参考書	文部科学省「幼稚園教育要領解説」・厚生労働省「保育所保育指針」 幼保連携型認定こども園教育・保育要領等。 他授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	事前に渡された事例プリントがある場合は読み取りをし、自分の考えをまとめて来る。						
関連科目	相談援助 社会的養護						
質問受付の方法	授業中、終了後随時受けつける。						
履修上の注意	遅刻・欠席はしないこと。配布されたプリントは各自自己管理をし忘れず持参する。						

保育の内容・方法に関する科目

授 業 科 目 名	保育内容総論			教 員	相沢 和恵		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育所 幼稚園 養護 教育 遊び 生活 発達 5領域						
授 業 の 概 要	乳幼児期に子どもが保育の中で体験する内容について理解します。基本となる幼稚園教育要領、保育所保育指針をふまえて、保育のありかたについて考えます。5領域を総合的にとらえる視点を養い、保育の全体構造の理解と、子どもの理解やその方法について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 「保育の目標」「子どもの発達」「保育の内容」を関連づけて、保育内容の全体的な構造を理解する。 【到達目標】 子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程を踏まえ、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子どもの実際を理解することができる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行う。						
授 業 計 画	1 保育内容を総論としてとらえる 2 保育所の日 3 幼稚園の日 4 遊びや生活を通して学ぶということ 5 保育所保育指針における保育内容の捉え方 6 幼稚園教育要領における保育内容の捉え方 7 教育・保育要領における保育内容の捉え方 8 事例で学ぶ領域と保育内容 9 事例で学ぶ領域と保育内容 10 事例で学ぶ年齢と保育内容 11 事例で学ぶ年齢と保育内容 12 事例で学ぶ子育て支援と保育内容 13 保育内容の課題(小学校との接続) 14 保育内容の課題(多様なニーズ) 15 保育実践とつながりを考える						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(筆記) 40% ■ 授業への取り組み・態度 30% ■ 提出物 30%						
教科書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、最新保育講座4 第2版「保育内容総論」大豆生田・渡辺・柴崎・増田編 ミネルヴァ書房						
参考書	必要に応じて紹介します。						
予習・復習・課題など	関連科目と合わせて考えたり、乳幼児保育に関する情報への関心を持ち、保育に関する文献を読むことを勧めます。						
関連科目	保育内容A,B,C,D、教育方法・技術論、保育・教育課程論						
質問受付の方法	担当へ随時受け付けます。						
履修上の注意	プリント類は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。免許・資格科目です、必ず履修してください。						

授 業 科 目 名	保育内容A			教 員	相沢 和恵・鴨志田 加奈・室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育内容 五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 発達						
授 業 の 概 要	養護と教育にかかわる保育内容について全体を通して理解し、総合的に保育を展開していくための子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、子どもの発達を5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の観点から捉え、領域のねらいと内容を具体的に習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育内容を総合的に保育活動へ展開していくための知識、技術、判断力を具体的に考え、言語化し表現することができる。日常的な子どもの姿を焦点にあて、保育内容の五領域との関連をふまえて育ちを考えることができる。 【到達目標】(1)保育内容の五領域のねらいである心情・意欲・態度を理解できる。(2)五領域の内容と子どもの実像を関連させ、言語化できる。(3)実践的な活動から経験したこと、展開できるところを記録できる。(4)保育実践を通して保育者としての意図や判断を省察できる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 複数名の教員体制でオムニバス方式の授業を展開します。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育内容とは 2 五領域別学習-健康 (ねらい・内容と子どもの育ち) 3 五領域別学習-健康 (保育者の援助や対応のねらいと留意点) 4 子どもの心情・意欲・態度を育む保育実践と保育教材制作(ペープサート) 5 五領域別学習-人間関係 (ねらい・内容と子どもの育ち) 6 五領域別学習-人間関係 (保育者の援助や対応のねらいと留意点) 7 五領域別学習-環境 (ねらい・内容と子どもの育ち) 8 五領域別学習-環境 (保育者の援助や対応のねらいと留意点) 9 五領域の相互関係性を捉える保育実践と保育教材制作(ペープサート) 10 五領域別学習-言葉 (ねらい・内容と子どもの育ち) 11 五領域別学習-言葉 (保育者の援助や対応のねらいと留意点) 12 五領域別学習-表現 (ねらい・内容と子どもの育ち) 13 五領域別学習-表現 (保育者の援助や対応のねらいと留意点) 14 五領域を総合的に捉える保育実践と保育教材制作(ペープサート) 15 授業のまとめ、今後の保育内容改定に関する動向						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔筆記30%・実技20%〕計50% ■ 授業への取り組み・態度 20% ■ 提出物 30%						
教科書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 月刊「保育とカリキュラム」ひかりのくに						
参考書	適宜、必要な資料を配布します。						
予習・復習・課題など	各2回の単元ごとにシートを作成して提出します。そこへ添削等助言を加え、後日に返却します。担当者からの助言をもとにシートを加筆修正し、再添削を図った後、整理して保存するよう学習習慣を身に付けます。保育教材制作に対して、見通しを持って制作が進められるよう時間を意識して取り組みます。						
関連科目	保育内容B、保育内容C、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 科 目 名	保育内容B			教 員	鴨志田 加奈・室井 佑美		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育内容 五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 発達 遊び 生活 行事						
授 業 の 概 要	養護と教育にかかわる保育内容について全体を通して理解し、総合的に保育を展開していくための子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、子どもの発達を5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の観点から捉え、領域のねらいと内容を具体的に習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育内容を総合的に保育活動へ展開していくための知識、技術、判断力を具体的に考え、言語化し表現することができる。子どもの遊びに焦点をあて、保育内容の五領域との関連をふまえた意図やねらいを理解し、保育を展開できる。 【到達目標】(1)子どもの遊びと五領域の総合性や関連性を説明できる。(2)子どもの育ちに対する意図やねらいを持ち、遊びの内容を考えられる。(3)計画に基づいた保育活動の準備、実践を協働して行える。自らの体験した保育実践活動を記録をふりかえり、評価することができる						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 教員2人体制でオムニバス方式の授業を展開します。 保育教材の発表、学外での保育実践の企画運営等、学生全体や地域にに披露する実践を行います。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育内容と遊び、子どもにとっての「遊び」の意義 2 子どもの主体性を育む保育実践と保育教材制作(紙皿シアター) 3 実習での遊びと五領域 4 年中行事を生かした遊び (子どもへのねらいと配慮) 5 地域とのつながりを感じる遊び (子どもへのねらいと配慮) 6 地域とのつながりを感じる遊び (保育内容を意識した活動への実施計画と準備) 7 地域とのつながりを感じる遊び (保育内容を意識した活動の実践と改善) 8 地域とのつながりを感じる遊び (自己省察)と子どもの協同性を育む保育実践 9 感覚を刺激する遊び(子どもへのねらいと保育内容を意識した活動への実施計画) 10 模倣・見立て遊び (子どもへのねらいと配慮) 11 模倣・見立て遊び (遊ぶ姿を考察し、さらなる遊びの展開を意識した計画を立案する) 12 模倣・見立て遊び (継続性のある遊びから、五領域の総合性と関連性を考察する) 13 年中行事を生かした遊び (保育内容を意識した活動への実施計画と準備)と子どもの創造性を育む保育実践 14 小学校との接続を意識した保育実践と保育教材制作(紙皿シアター) 15 指導案に基づいた遊びと五領域						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔レポート20%、実技20%〕計40% ■ 授業への取り組み・態度 20% ■ 提出物 40%						
教科書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 月刊「保育とカリキュラム」ひかりのくに「フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画」萌文書林						
参考書	「遊びの指導」(乳幼児編)幼少年教育研究所編著 同文書院 適宜、必要な資料を配布します。						
予習・復習・課題など	保育内容Aと同様、単元ごとにシートを作成して提出します。そこへ添削等助言を加え、後日に返却します。担当者からの助言をもとにシートを加筆修正し、再添削を図った後、整理して保存するよう学習習慣を身に付けます。保育教材制作に対して、見通しを持って制作が進められるよう時間を意識して取り組みます。定期的な披露の場があります。扱う素材、教材の準備・管理等は自身の責任で行います。						
関連科目	保育内容A、保育内容C、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 科 目 名	保育内容C			教 員	相沢 和恵・今村 麻子		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育内容 五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 発達 遊び 生活 行事						
授 業 の 概 要	養護と教育にかかわる保育内容について全体を通して理解し、総合的に保育を展開していくための子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、子どもの発達を5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の観点から捉え、領域のねらいと内容を具体的に習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育内容を総合的に保育活動へ展開していくための知識、技術、判断力を具体的に考え、言語化し表現することができる。子どもの生活と生活習慣に焦点をあて、保育内容の五領域との関連をふまえた意図やねらいを持ち保育を展開できる。 【到達目標】(1)子どもの生活と五領域の総合性や関連性を説明できる。(2)基本的生活習慣に対して子どもの発達に即した自立を育む意図やねらいを持ち、配慮を考えられる。(3)生活の流れ、年齢に適した保育活動の実践を協働して行い、自らの体験した保育実践活動を記録をふりかえり評価できる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 教員2人体制でオムニバス方式の授業を展開します。 絵本の読み語り等、学生全体に披露する実践を行います。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション、保育内容と基本的生活習慣、生活習慣を身に付けることの意義					
	2	実習での基本的生活習慣と五領域					
	3	衣服の着脱 (子どもの発達から考える:着る・脱ぐ・履く・被る・ボタンやファスナー・身だしなみ)					
	4	衣服の着脱 (生活の場面から保育者の配慮を考える:物的・人的環境での創意工夫)					
	5	遊びの中で生活習慣を意識できる保育活動 (生活場面から実際の指導を考える)					
	6	遊びの中で生活習慣を意識できる保育活動 (指導実践から、振り返り考察する)					
	7	食事・食育 (子どもの発達から考える:食形態・食具や食器・楽しく食べる・マナー)					
	8	食事・食育 (生活の場面から保育者の配慮を考える:物的・人的環境での創意工夫)					
	9	排泄 (子どもの発達から考える:おむつからおむつはずし、排泄の自立へ)					
	10	排泄 (生活の場面から保育者の配慮を考える:おむつ交換・おむつはずし・マナーや身だしなみ)					
	11	清潔・身だしなみ (子どもの発達から考える:手洗い・うがい・歯磨き・身支度)					
	12	清潔・身だしなみ (生活の場面から保育者の援助を考える:感染予防・衛生管理における配慮)					
	13	睡眠 (子どもの発達から考える:睡眠のメカニズム・乳幼児の睡眠・午睡・就学へ向けて)					
	14	睡眠 (生活の場面から保育者の配慮を考える:物的・人的環境での創意工夫)					
成績評価の基準と方法	■ 定期試験 (レポート20%、実技20%) 計40% ■ 授業への取り組み・態度 20% ■ 提出物 40%						
教科書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 月刊「保育とカリキュラム」ひかりのくに						
参考書	適宜、必要な資料を配布します。						
予習・復習・課題など	保育内容Aと同様、单元ごとにシートを作成して提出します。そこへ添削等助言を加え、後日に返却します。担当者からの助言をもとにシートを加筆修正し、再添削を図った後、整理して保存するよう学習習慣を身に付けます。絵本の読み語りに対して、見通しを持って準備が進められるよう下読み・絵本探しなど意欲的に取り組みます。定期的な披露の場があります。扱う教材の準備・管理等は自身の責任で行います。						
関連科目	保育内容A、保育内容B、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 科 目 名	保育内容D			教 員	相沢 和恵・今村 麻子・室井 佑美		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育内容 五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 発達 遊び 生活 行事						
授 業 の 概 要	養護と教育にかかわる保育内容について全体を通して理解し、保育を総合的に把握して展開していくための子どもへの理解や保育内容、方法について学びます。実践的な活動を通して、子どもの発達を5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の観点から捉え、領域のねらいと内容を具体的に習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育内容を総合的に保育活動へ展開していくための知識、技術、判断力を具体的に考え、言語化し表現することができる。年間を通した園運営と行事に焦点をあて、保育内容の五領域との関連をふまえた意図やねらいを持ち保育を展開できる。 【到達目標】(1)行事における子どもの育ちと五領域の総合性や関連性を説明できる。(2)行事に向けて子どもの発達に即した自立を育む意図やねらいを持ち、配慮を考えられる。(3)行事の実施計画をふまえて実践を協働して行い、自らの保育実践活動を記録し、適切な評価と改善を検討できる。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 複数名の教員体制でオムニバス方式の授業を展開します。 保育教材の発表、学外学習の企画運営等、実施計画に基づく実践を行います。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション、保育内容と行事、行事の意義 2 安全を意識する行事 (子どもの育ちと危険に対する意識、災害時の行動) 3 安全を意識する行事 (子どもへのねらいと保育内容を意識した活動への実施計画立案) 4 安全を意識する行事 (子どもへのねらいと保育内容を意識した活動への教材準備) 5 安全を意識する行事 (実施計画の披露と評価、改善した再計画立案) 6 実習での行事と五領域 7 地域や生活に関係してつながる行事 (子どもへのねらいと実施計画立案) 8 地域や生活に関係してつながる行事 (実施計画に基づいた人的環境の活用方法と評価) 9 地域や生活に関係してつながる行事 (実施計画に基づいた物的環境の活用方法と評価) 10 地域や生活に関係してつながる行事 (実施計画に基づいた社会的環境の活用方法と評価) 11 地域や生活に関係してつながる行事 (実施計画の実践と緊急事態への対応方法と評価) 12 地域や生活に関係してつながる行事 (実施計画の実践に対する全体評価と子どもの学び) 13 協同的な学びにつながる行事と子どもに対する学びの評価(ポートフォリオの作成) 14 保育内容A・保育内容B・保育内容C・保育内容Dの総合的なまとめ(事例を検討し読み解く) 15 保育内容の今後の展望と課題						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(レポート) 30% ■ 授業への取り組み・態度 30% ■ 提出物 40%						
教科書	保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 月刊「保育とカリキュラム」ひかりのくに						
参考書	適宜、必要な資料を配布します。						
予習・復習・課題など	保育内容Aと同様、單元ごとにシートを作成して提出します。そこへ添削等助言を加え、後日に返却します。担当者からの助言をもとにシートを加筆修正し、再添削を図った後、整理して保存するよう学習習慣を身に付けます。保育教材制作に対して、見通しを持って制作が進められるよう時間を意識して取り組みます。定期的な披露の場があります。扱う教材の準備・管理等は自身の責任で行います。						
関連科目	保育内容A、保育内容B、保育内容C、保育内容総論、保育・教育課程論、教育方法・技術論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。なお、保育内容A～Dまでを一貫して記録保存します。授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授 業 科 目 名	乳児保育			教 員	今村 麻子		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	乳児保育の変遷と役割 乳幼児の発達や特性 保育士の専門性						
授 業 の 概 要	乳幼児が豊かに育つためには何が重要であるのかを考え、1.乳児保育の概要について知る。2.乳幼児期の発達や生活に理解を深める。3.乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】乳児保育に必要な知識や技能を様々な観点を通して学ぶ。 【到達目標】乳児保育についての歴史、現状、課題について理解する。乳幼児の心身の発達について基礎的知識を身につける。乳児保育の内容や、園児・保護者に対しての援助の方法について知る。						
授 業 の 方 法 等	演習中心で行いますが、授業内容によりグループワークや実技を取り入れます。						
授 業 計 画	1 乳児保育が求められる社会的背景 2 乳児保育に関連する法規について 3 保育所保育指針にみる乳児保育の留意点 4 保育所保育指針にみる乳児保育の留意点 5 乳児と楽しむ手遊び・絵本 6 乳児保育の保育計画と実践(0歳児) 7 乳児保育の保育計画と実践(1～2歳児) 8 保護者・地域・専門機関との連携 9 保護者との連携(連絡帳などのコミュニケーション) 10 保護者との連携(不適切な子育ての発見) 11 乳児保育における環境・保育士のチームワーク 12 安全管理やトラブルと対応 13 乳児保育の実際 14 乳児保育の実際 15 多様な子育て支援の場						
成績評価の基準と方法	■定期試験(筆記)40% ■授業への取り組み・態度30% ■提出物30%						
教 科 書	「はじめて学ぶ乳児保育」志村聡子編著 同文書院						
参 考 書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	指定された範囲のテキストを読んでおくこと。演習課題に関するワークの作成提出。						
関 連 科 目	保育内容A、保育内容B、保育内容C、保育内容D、保育内容総論、保育・教育課程論						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	プリント等は、A4版2穴ファイルに整理、保存すること。授業実施場所の変更や準備物などについて指示する場合があります。						

授 業 科 目 名	障がい児保育			教 員	黒澤 民治		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	障がい児、統合保育、障がい種別、知的障がい、発達障がい						
授 業 の 概 要	障がいのある幼児にとって保育所や幼稚園における集団活動による刺激は、確かな発達を促す意味で重要です。各障がい種別等の課題について考え、障がいのある幼児にどのように対応するかなどについて学習し、実践的資質を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】障がいに係る様々な課題や現状を理解し、望ましい保育活動を展開するために必要な、基礎的・基本的な知識等を習得することを目的とします。 【到達目標】(1)障がいとは何かについて理解する。(2)障がいのある幼児の保育について理解する。(3)各障がい種別の特性等について理解する。(4)障がいのある幼児の保護者の心情を理解する。(5)発達障がいについて理解する。						
授業の方法等	授業では障がい児に係る様々な課題や現状及び支援の方法等を理解するために、ビデオ視聴やレポート発表などを通して、学生との双方向性のある授業展開を目指します。						
授 業 計 画	1 障がいに関するアンケート調査とオリエンテーション 2 障がいについての理解 3 障がい種別と程度 4 障がい種別への理解と対応(視覚・聴覚・肢体不自由) 5 障がい種別への理解と対応(知的・病弱) 6 発達障がいへの理解と対応(LD・ADHD・高機能自閉症) 7 障がいのある幼児の保育を進めるための基本的事項 8 分離保育と統合保育 9 障がいのある幼児の保護者の心情理解 10 障がいのある幼児の実態把握の手立て 11 障がいのある幼児の保育計画 12 事例研究 13 事例研究 14 就学支援と関係機関との連携 15 障がい児の就学の場合						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(筆記) 50% ■ 授業への取り組み・態度 30% ■ 提出物 20%						
教 科 書	必要に応じてプリントを配布します。						
参 考 書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	【予習】提出課題の調査・障がい児等に関する新聞記事等を読む。 【復習】講義ノートの作成と整理						
関 連 科 目	特別支援教育論						
質 問 受 付 の 方 法	授業前後に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	テレビや新聞等から、「障がい」について関心をもつと、講義内容が身近になります。						

授 業 科 目 名	保育・教育相談の方法			教 員	森 八千代		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼児理解 保育のしくみ 記録 評価 子育ての現状 保育相談支援						
授 業 の 概 要	保育相談支援幼児理解と評価の実際(実践事例)を学ぶ 保育者の姿勢について理解する カウンセリングマインドと保育の接点を学ぶ 子育ての現状を認識し、保育相談支援の方法を学ぶ						
授業のねらいと到達目標	[ねらい] 幼児を理解することの基本知識を身につける 保育者の関わりを研究し、幼児を主体的に考える能力を養う 保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する [到達目標] 本授業では、保育の基本である幼児の行動や内面を理解すること、また、保育相談支援の方法を獲得することを目的とする。						
授業の方法等	○グループワーク・討論・発表・ビデオ鑑賞などの利用 ○課題レポートの提出						
授 業 計 画	1 保育者の求められる専門性とは 2 環境を通して行う教育 3 幼児を肯定的に見る目をもつ 4 カウンセリングマインドと保育の接点 5 保育のしくみと幼児理解 6 幼児理解と評価 7 記録をとることの意味 8 記録の実際 9 保育相談支援の意義<家庭の変容と現状><幼稚園・保育所の事例> 10 保育相談支援の原則<保護者の養育力の向上><受容的かわり> 11 保育相談支援の進め方<より効果的な保育相談をするために><幼稚園・保育所の事例> 12 保育相談支援の技術<保育相談支援の技術と留意点><乳幼児の発達する姿> 13 保育相談支援の実際<技術と留意点><幼稚園・保育所の事例> 14 保育相談支援の実際<幼稚園・保育所の事例> 15 保育相談支援の実際<幼稚園・保育所の事例>まとめ						
成績評価の基準と方法	■定期試験(筆記) 60% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物・レポート 10% ■その他(小テストの点数) 10%						
教科書	幼児理解と評価(平成22年 改訂版) 文部科学省 205円 保育相談支援(小林育子著) 萌文書林 1,728円						
参考書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	授業時には、教科書・参考書・ノート(A4)を必ず持参すること。 [復習]授業で学んだことを読み返し、配布された資料などをノートに貼付するなどして整理すること。						
関連科目							
質問受付の方法	担当(森)に授業後に質問してください。						
履修上の注意							

授 業 科 目 名	保育・教育課程論			教 員	新井 英人		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼稚園教育要領、保育所保育指針、保育・教育課程を規定する法律をもとに作成の必要性について学ぶ。						
授 業 の 概 要	幼稚園及び保育所におけるカリキュラムを考え、保育士養成課程の保育課程論と幼稚園教諭養成課程の教育課程論について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】幼稚園及び保育所におけるカリキュラムを理解し、実際のカリキュラムに沿って指導計画が作成できる力を養う。 【到達目標】上記のねらいを達成するために、各カリキュラムについて理解し、保育士・幼稚園教諭として資質の向上と子どもたちのために、カリキュラムからしっかり指導計画の作成ができるようにする。						
授業の方法等	講義形式で進める。できるだけ具体的な内容の提示をし、理解を深めていく。授業時間内において、レポートの提出を行うほか筆記試験を実施する。						
授 業 計 画	- カリキュラム編成の基本について - 保育課程・教育課程の必要性について - 保育所保育指針について - 保育課程編成の基本と指導計画のつながり - 幼稚園教育課程の基本と編成に向けて - 教育課程編成の留意点 - 指導計画作成の手順と留意点 - 保育方法と指導計画及び記録による反省 - 指導要録の構成と記載法 - 保育の基本と保育指導計画 - 幼稚園における指導計画とは - 保育形態に応じた指導計画 - 年間計画と行事 - 行事の計画と実際 - 評価の目的と対象						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）60% ■ 授業への取り組み・態度 10% ■ 提出物 30%						
教 科 書	保育者養成シリーズ「保育・教育課程論」（株）一藝社 高橋弥生 編著						
参 考 書	文部科学省「幼稚園教育要領解説」 フレーベル館 厚生労働省「保育所保育指針解説書」 フレーベル館						
予習・復習・課題など	予習：授業は教科書に沿って進めるので、必ず目を通しておくこと。 復習：ノートの作成と整理。						
関 連 科 目	保育・教育職の研究、教育方法・技術論、保育内容総論						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員に直接聞くこと。						
履 修 上 の 注 意							

授 業 科 目 名	造形表現			教 員	橋本 夏夫		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	「身近な素材」「グループワーク」「手で考える・心で感じ取る」						
授 業 の 概 要	幼児期はものを造ったり造ったもので遊んだり、絵を描いたりしながら自己を表現し人とのコミュニケーションを図ります。本授業ではものを造ったり描いたりすることを通して、子どもとの時間を共有する方法や、子どもがもともと持っている力を引き出すための手立てを学び、子どもへの理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】造形や描画についての知識や技術を得るだけでなく、子どもの意欲的な活動を引き出す方法や造形、絵画に現れた子どものこころの姿を感じ取れる力を養います。また、制作を通して生活の中の芸術性とは何かについて考えます。 【到達目標】本授業は「制作する」という体験性を生かした学習です。単に技術を習得するだけではなく、その技術や知識が、子どもと共有する世界のどこに繋がっていくのか理解することを到達目標とします。						
授業の方法等	演習・グループワークなど、制作を主体に授業展開します。学期末に子どもの絵の発達とその特長についてなどの筆記試験を実施します。やまたんテキスト効果測定造形表現を2回以上実施します。						
授 業 計 画	1 ガイダンス・「表現」の理解と造形表現のねらい/実技・身近な素材で表現する(新聞紙遊び1・跳ね上げ遊び) 2 新聞紙遊び2・身体を包んで遊ぶ (可塑性のある素材としての新聞紙で表現する) 3 新聞紙遊び3・新聞紙で野菜を作る (可塑性のある素材としての新聞紙で表現する) 4 透明な素材を活かした表現 1. (透過性のある素材としてのビニールで表現する) 5 透明な素材を活かした表現 2. (透過性のある素材としてのビニールで表現する) 6 空気の話・大きな風船をつくって飛ばそう1. (目に見えない素材で表現する) 7 空気の話・大きな風船をつくって飛ばそう2. (目に見えない素材で表現する) 8 季節(行事)の壁面制作・(クリスマス会へ向けて・年中行事について知る)・やまたんテキスト造形表現の実施 9 季節(行事)の壁面制作と展示・(クリスマス会へ向けて・年中行事について知る)・やまたんテキスト造形表現の実施 10 自然物でクリスマスオーナメントをつくる・(クリスマス会へ向けて・年中行事について知る) 11 樹木と環境について1・卒業生の木をつくる・アートの森をつくるproject (自分の葉っぱをつくる) 12 樹木と環境について2・卒業生の木をつくる・アートの森をつくるproject (自分たちの森をつくる) 13 どんぐりのせいくらべ (擬人化した表現を学ぶ)・ 14 講義・子どもの絵の発達段階を学ぶ・子どもの絵に現れる特徴を理解する。 15 講義・子どもの絵の発達段階を学ぶ・子どもの絵に現れる特徴を理解する。						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(筆記) 60% ■ 授業への取り組み・態度 40%						
教 科 書	使用しない。毎回プリントを配布する。						
参 考 書	やまたんテキストvol3。毎回プリントを配布する。						
予習・復習・課題など	授業内で必要な準備(制作のプランや必要な材料の用意)は予習として各自が事前に行うこと。また、学校行事などと授業内容が関連している場合は、空き時間や放課後などの授業時間以外を使って準備する場合があります。						
関 連 科 目	図画工作・子ども文化演習C劇(クリスマス会)						
質 問 受 付 の 方 法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。2.積極的な姿勢で授業に関わること。3.毎回の授業時に配布するプリントは、各自が注意点を記入し完成させまわること。						

授 業 科 目 名	子どものアート			教 員	服部 睦美		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	技術、素材、発展、応用						
授 業 の 概 要	「アート」とは、内容、技法を含む美的表現の事を言いますが、ここでは主に美術技法を中心に学んでいきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 身の廻りにあるものを参考に「表現」に用いられているルールや技法を理解し応用に繋がられる様にします。 【到達目標】 制作を通し素材の扱い方を知り、各々新たな制作活動に活かせる事を目標とします。						
授業の方法等	講義と演習。 考え方や手順の説明等の後、実際に制作していきます。また自己の制作の体験を通して感じた問題点、感想及び発展のアイデア等レポートにまとめます						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 象徴的な表現について考察する 制作 2 サインボードの制作 / 目的に合わせた効果的なデザインについて考察し、デザインする 3 サインボードの制作 / デザインしたサインボードの実制作 4 サインボードの制作 / サインボードの制作、仕上げ。まとめ 5 紙箱の制作 / 紙工作の基礎を学ぶ。単純な形の箱の制作 6 紙箱の制作 / 変形の箱の制作。 7 紙箱の制作 / 表面の装飾方法、紙を用いた幅広い表現を学ぶ。 8 紙箱の制作 / 紙箱の制作、仕上げ。まとめ 9 共同制作について考察する / 点描画の制作 10 テーマに沿ったオリジナルの箱の制作 / 半期を通して学んだことを応用し、各々デザインを考える 11 テーマに沿ったオリジナルの箱の制作 / 制作 12 テーマに沿ったオリジナルの箱の制作 / 制作。仕上げ						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）16% ■ 授業への取り組み・態度 10% ■ 提出物 64% ■ その他（授業内レポート）10%						
教 科 書	特になし						
参 考 書	あればその都度紹介します						
予習・復習・課題など	指示された素材は必ず多めに集めるように心掛けて下さい。課題作品の制作が授業中に終わらなければ、提出期限に間に合う様に各自で制作、完成させて下さい。提出期限はその都度指定します。						
関 連 科 目	特になし						
質 問 受 付 の 方 法	授業時に直接						
履 修 上 の 注 意	受講に必要な道具、素材は予め指示します。必ず忘れない様に持って来て下さい。筆記用具は毎回必ず持参して下さい。HB、Bの鉛筆を用意して下さい。						

授 業 科 目 名	身体表現			教 員	鴨志田 加奈		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	運動あそび、表現、ムーブメント、模倣(まねっこ)、創作						
授 業 の 概 要	子どもの身体表現の意義や過程、保育者としての受け止め方、保育場面における様々な身体表現活動の捉え方や実施方法等を学ぶ。保育者としての身体性や表現力を高める。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもの身体表現活動について保育者としての専門的知識・技能を高める。自身の身体性や表現力を向上させ、保育者として良き人的環境となることを目指す。表現の過程を大切にしたい援助が出来るようになることを目指す。 【到達目標】 日常、活動、行事それぞれの場面における様々な身体表現活動について学び、展開の仕方を考えられる 表情・身体性・言葉がけを含めた人的環境としての身体表現を意識して活動できる 発表までの過程を重視しながら、簡単なダンス作品を作ることが出来る 保育者としての表現力(コミュニケーション能力)を向上させる						
授業の方法等	実技、講義、ビデオ視聴、グループワーク、ロールプレイ、授業内テスト						
授 業 計 画	1	オリエンテーション、身体表現の意義、過程の重要性					
	2	日常の中の中にある身体表現					
	3	自由な身体表現を楽しむ活動 からだ・動き					
	4	自由な身体表現を楽しむ活動 音・オノマトペ					
	5	自由な身体表現を楽しむ活動 省察					
	6	過程を重視した発表 振付創作					
	7	過程を重視した発表 ステージング					
	8	人的環境としての保育者 自身の身体性を磨く					
	9	人的環境としての保育者 パーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション					
	10	実技試験					
	11	パフォーマンス創作(振付1)					
	12	パフォーマンス創作(振付2)					
	13	パフォーマンス創作(ステージング)					
	14	パフォーマンス創作(演出)					
	15	授業のまとめ					
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕20% ■授業への取り組み・態度 50% ■その他〔授業内で行う実技発表〕30%						
教科書	改訂2版「子ども・からだ・表現～豊かな保育内容のための理論と演習～」西洋子 本山益子 吉川京子著 市村出版						
参考書							
予習・復習・課題など	教科書を良く読んでおくこと。配布資料を整理しておくこと。日常から、音楽・映像鑑賞、演劇・ダンス・パフォーマンスを観る等、積極的に表現に触れる機会を作ってください。						
関連科目	幼児体育、リトミック・リズム運動、音楽、音楽表現、図画工作、造形表現、子ども文化演習ABC						
質問受付の方法	適宜、研究室等で受け付けます。						
履修上の注意	1.運動できる服装で臨むこと。2.内履き、外履きをロッカーに準備すること。3.プリント等はすべてA4判2穴ファイルに整理、保存すること。4.授業実施場所の変更や準備するもの等については教員の指示を良く聞くこと。						

授 業 科 目 名	リトミック・リズム運動			教 員	鴨志田 加奈		
開 講 時 期	前期	配当年次	1・2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	リトミック、リズム、ステップ、幼児、体育、体操、運動、あそび、表現、音楽						
授 業 の 概 要	1年次の身体表現・音楽表現を踏まえ発展的に学ぶ。全15回の授業の内、前半の7回は様々なスタイルのダンス実技と講義を通して、踊ることの意義や文化的背景について学ぶ。後半は、音楽と身体とを使った音楽教育(リトミック)について具体的な知識とその意義、指導法を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 表現文化に関する知識、専門的な表現方法、教育法等、身体表現・音楽表現を広汎的深層的に学び、保育者としての資質を高めることをねらいとする。 【到達目標】 身体表現・音楽表現について文化的教養を身につける 自らの思考を持ってバリエーション豊かな表現活動を子ども達と行える応用力を身につける 方法論だけでなく、表現の本質に気づく視点を養う						
授業の方法等	実技、講義、ビデオ視聴、グループワーク						
授 業 計 画	1 オリエンテーション ダンスと文化 2 ダンスアラカルト リズムの共有(縦ノリのダンス) 3 ダンスアラカルト リズムの共有(ボディパーカッション) 4 ダンスアラカルト 手で表現する(言葉を伝える) 5 ダンスアラカルト 手で表現する(イメージを伝える) 6 ダンスアラカルト リズムの楽しさを味わう(ステップ) 7 ダンスアラカルト リズムの楽しさを味わう(フレーズ) 8 ダンスアラカルトまとめ 作品作り・発表 9 リトミック(リトミックとは) 10 リトミック(即時反応) 11 リトミック(流れのある活動) 12 授業のまとめ						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔レポート〕30% ■ 授業への取り組み・態度 70%						
教 科 書	使用しない						
参 考 書							
予習・復習・課題など	日常から身体表現や音楽表現に興味を持って、音楽・映像鑑賞、パフォーマンスを観る等、積極的に表現に触れる機会を作ってください。配布資料を整理しておくこと。						
関 連 科 目	幼児体育、身体表現、音楽、音楽表現、図画工作、造形表現、子ども文化演習ABC						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	1.運動できる服装で臨むこと。2.内履き、外履きをロッカーに準備すること。3.プリント等はすべてA4判2穴ファイルに整理、保存すること。4.授業実施場所の変更や準備するもの等については教員の指示を良く聞くこと。						

授 業 科 目 名	音楽表現			教 員	福泉 博子・福士 紗希		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	合唱 合奏 器楽奏法 発声法 指揮法 振り付け 表現						
授 業 の 概 要	こども達が生活や遊びの中で音楽に親しみ、楽しむことで豊かな感性や創造性が生まれます。合唱や合奏をはじめ、様々な音楽の力を使ってこどもたちの心を育てる方法を学び、習得します。また、授業の成果を12月に実施するクリスマス会(学校行事)においてステージ発表をし、地域に公開します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 合唱、合奏活動を通じて歌唱法やこどもが使う各種楽器の奏法を学び、保育者に必要とされる指導技術を身につけます。また、発表会やクリスマス会の準備を通して園行事(音楽会)の流れを習得します。 【到達目標】 表現が目指すもの、もたらすものを理解し、音楽の力がこどもに与える影響を理解する。地域公開に耐え得る水準の高い演奏を目指します。クリスマス会に向けて仲間と協力し、向上心を持って取り組むことができるようにする。						
授業の方法等	演習形式で行います。前半は合奏の授業を行います。 後半はクリスマス会に向けて全員合唱や、少人数でのアンサンブル、グループ練習を行います。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション やさしい鍵盤楽器・吹奏楽器・打楽器の奏法 指揮法 2 合奏 3 合奏 4 合奏 ミニ発表会 5 クリスマス会の演奏曲目と担当者決め 6 全体合唱、グループに分かれての合奏・合唱の練習 (練習はグループのリーダーが中心となって進めます) 7 グループ練習 8 グループ練習 9 中間発表とグループ練習 10 グループ練習 (全体練習での問題点の見直しと調整) 11 合同練習 12 合同練習 13 クリスマス会リハーサル 14 クリスマス会の振り返り 15 授業のまとめ レポート作成						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(実技(合唱・合奏)) 60% ■ 授業への取り組み・態度(クリスマス会を含む) 30% ■ 提出物(レポート) 10% クリスマス会欠席で20点減点、授業欠席1回で2点減点						
教 科 書	プリントを配布します。						
参 考 書	特になし。						
予習・復習・課題など	合唱や合奏の個人練習やパートごとのグループ練習が必要です。 クリスマス会前には授業時間以外で練習をする場合があります。						
関 連 科 目	音楽 身体表現 子供文化演習C						
質 問 受 付 の 方 法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	発表を成功させるためには、一人一人が自覚と向上心をもって取り組まなくてはなりません。互いに協力し合ってよい演奏ができるように心がけましょう。						

授 業 科 目 名	子どものうたと遊び			教 員	大島 靖史		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	○遊び歌(手遊び・ふれあい遊びなど) ○ルールのある遊び ○廃材を使った遊び・シアター						
授 業 の 概 要	「遊び歌・遊び」の楽しさ、指導の心構えや指導方法を実技を通して指導技術を習得する。また楽しいだけでなく子どものどのようなところの成長を促していけるか年齢や発達に合わせて考える。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】乳幼児の特徴や発達を認識し、遊び歌や遊びをどのような場面、指導方法で子どもたちと楽しみ合うことができるかを学び、保育での実践力を高める。遊びの理解を深めながら、協力して楽しむ。 【到達目標】遊び歌や遊びを知り、指導法を体得した経験を保育実習や保育業務で自信を持って実践することができる。						
授業の方法等	○主に実技が中心 ○講義 ○課題「オリジナル創作遊びの発表」						
授 業 計 画	1 オリエンテーション「自己紹介」「なぜ遊び歌、手遊びをおこなうのか？目的について」「遊びとコミュニケーション」 2 遊び歌の実践「担当教員による遊び歌の実演」「子どもとのコミュニケーションの取り方」「保育エピソード」 3 幼児向けの遊び「ゲームやルールのある遊びを紹介・実践」 4 幼児向けの遊び「ゲームやルールのある遊びを紹介・実践」 5 運動遊び「年齢にあった運動競技の紹介・実践」 6 道具を使った遊び「風船やタオルなどを使った遊びを紹介・実践」 7 廃材を使った遊び「ビニール袋や新聞紙などを使った遊びを紹介・実践」 8 手遊びなど「年齢や目的にあった手遊びなどを紹介」「アレンジ」 9 手遊びなど「年齢や目的にあった手遊びなどを紹介」「アレンジ」 10 ふれあい遊び「子育て支援や親子参観などで実施できる遊びを紹介・実践」 11 戸外活動、自然遊び「自然物を使った遊び」「ネイチャーゲーム」 12 オリジナル創作遊び制作「グループ事に分かれ、遊びを考える」「練習」 13 オリジナル創作遊び発表「グループ事に発表する。遊びについて話し合う」 14 オリジナル創作遊び発表「グループ事に発表する。遊びについて話し合う」 15 まとめ「感想レポートを提出」						
成績評価の基準と方法	■定期試験(レポート) 20% ■授業への取り組み・態度 50% ■提出物(オリジナル創作遊びグループ発表) 30%						
教 科 書	毎回教材CD、状況に応じてプリントを配布します。						
参 考 書	教材CD「あそびプロデュース～手遊び・ふれあい遊び～」、「あそびプロデュース～タオル遊び・集団遊び～」						
予習・復習・課題など	年齢に合わせた遊びの実技演習をおこなうので、年齢ごとの発達を参考書等を読んで理解しておいてください						
関 連 科 目	実習指導 ・ 教育実習 ・ 保育実習 ・						
質 問 受 付 の 方 法	授業時、授業終了後、随時受付しております						
履 修 上 の 注 意	随時「遊びのプリント」を配布するので保管できる専用のファイルを用意してください						

教職に関する科目

授 業 科 目 名	教育方法・技術論			教 員	新井 英人		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	講義
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育方法、保育内容、遊びや生活への援助						
授 業 の 概 要	教育現場では、地域から信頼され確かな指導力を身に付けた教員が求められている。この授業では、幼稚園教育として幼児の発達を促す保育の方法や技術を理論的・実践的に探求し、刻々と変わる保育ニーズに対応できる実践力の基礎を培う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】幼稚園教育は、幼児期の特性をとらえ子どもが主体となり、さまざまな保育方法や環境を通して行うことを理解する。 【到達目標】上記のねらいを達成するために、地域社会に貢献できる幼稚園教諭の養成とその基礎となる知識や教育方法について理解する。						
授業の方法等	講義形式で行う。できるだけ具体的な内容を提示し、理解を深めていく。授業内にレポートの提出を求めたり、筆記試験を実施したりする。						
授 業 計 画	1 保育方法の基本を考える 2 乳幼児理解と保育方法 3 さまざまな主義に基づく保育 4 保育形態をどう考えるか 5 園でのこどもの「遊び」「生活」をどう援助するか 6 カリキュラムと保育方法 7 指導計画と保育方法 8 実習指導計画と保育方法 9 実習日誌から考える保育方法 10 園行事について考える 11 実際の行事の展開から考える 12 環境としての「遊具」の考え方 13 保育におけるメディア等の考え方 14 家庭との連携 15 保育者同士の連携						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験（筆記）60% ■ 授業への取り組み・態度 10% ■ 提出物 30%						
教 科 書	「保育方法の探求」 大学図書出版 浅見 均・田中正浩 編書						
参 考 書	文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 厚生労働省「保育所保育指針解説書」フレーベル館						
予習・復習・課題など	予習：授業は教科書に沿って進めるので、必ず目を通しておくこと。 復習：ノートの作成と整理。						
関 連 科 目	保育・教育実践演習						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員へ直接聞くこと。						
履 修 上 の 注 意							

授 業 科 目 名	保育・教職実践演習(幼稚園)			教 員	橋本 淳一・今村 麻子		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	保育者としての資質・能力 フィールドワーク グループワーク ロールプレイ ビデオ録画						
授 業 の 概 要	幼稚園教諭・保育士として求められる使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力などに関する事項について、グループ討議、フィールドワーク(保育実践)、グループワーク(壁面製作)、ロールプレイなどの方法を取り入れながら授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園教諭・保育士として最小限必要な資質能力の全体について、確実に身につけるとともに、その資質能力の全体を確認する。 【到達目標】 学生が、教員・保育者となる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補い、その定着を各自で図る。						
授業の方法等	講義、演習、ディスカッション、フィールドワーク、ロールプレイ、グループワークと多様な形式で進めます。幼稚園・保育所・つどいの広場等での保育実践(フィールドワーク)やロールプレイではビデオ撮影を行い、リプレイします。						
授 業 計 画	1	これまでの教育実習・保育実習における学修の振り返りについて (履修カルテ の作成)					
	2	自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認と自己課題の設定					
	3	教職や保育職の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、あるいは、社会性や対人関係能力等についてのグループ討議					
	4	保育内容等の指導法・指導力についてのグループ討議					
	5	保育内容等の指導法・指導力についてのロールプレイ(模擬授業)による探求					
	6	保育内容等の指導法・指導力についてのロールプレイ(模擬授業)による探求					
	7	幼児理解や学級経営についてのグループ討議					
	8	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究					
	9	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究					
	10	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究					
	11	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究					
	12	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究					
	13	幼児理解や学級経営についてのグループワーク・フィールドワークによる探究					
	14	ロールプレイング・グループワークを通じた実践的指導力修得の相互評価					
	15	幼稚園教諭・保育士としての資質の確認とまとめ					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■その他(課題・発表) 80%						
教科書	特に使用しません。						
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
予習・復習・課題など	フィールドワーク(保育実践)は学外で行います。ロールプレイ(模擬授業)の事前準備は授業時間外に行ってください。						
関連科目	実習指導 ・ 教育実習 ・ 保育実習 ・ 施設実習 ・						
質問受付の方法	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	履修カルテの作成とロールプレイ・保育実践でのビデオ撮影は必須です。						

保育表現技術科目

授 業 科 目 名	音 楽			教 員	福泉 博子・数野 麻衣子 大導寺 俊平・町田 百合絵・福士 紗希		
開 講 時 期	通 年	配 当 年 次	1	単 位 数	2	授 業 形 態	演 習
免 許 ・ 資 格 と の 関 係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許選択必修						
授 業 内 容 を 示 す キ ー ワ ー ド	ピアノ 弾き歌い 歌唱法 こども・幼児の歌 音楽理論 楽典 ソルフェージュ						
授 業 の 概 要	保育者として必要となる音楽の基礎的な知識、技能の理解と習得を目指します。そのため、音楽理論や楽典、歌唱法、ソルフェージュに関する授業を前期に、ピアノや弾き歌いなどの個人レッスンを後期の授業で実施し、音楽全般について総合的に学習します						
授 業 の ね ら い と 到 達 目 標	【ねらい】 幼稚園や保育所などで歌わせる「こども・幼児のうた」の特性を学び、ピアノで弾き歌いをしながら幼児の指導ができるレベルを目指します。 【到達目標】 前期では基本的な音楽の知識の習得と、生活のうたの習得を目標とし、後期では、遡及者はバイエル教則本の95番まで、中級者はバイエル教則本全曲終了、上級者はソナタアルバムが弾けるようにすることを目標とします。 保育士資格試験(国家試験)保育実習理論音楽問題の60%が正答できるようになります。						
授 業 の 方 法 等	演習形式で行います。前期は各グループで初級者と中・上級者に分かれ、生活の歌などの弾き歌いや、音楽理論・楽典に関する授業を受けます。後期は毎週ピアノの個人レッスンを受けます。前期は音楽理論の筆記試験、後期は発表会形式でピアノと弾き歌いの実技試験を行います。						
授 業 計 画	1	オリエンテーション 授業内容の説明		16	オリエンテーション(目標 内容 授業形式の説明)		
	2	音名・音・音記号の理解 弾き歌い「あさのうた」			17～28回 学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン		
	3	譜表・音符・休符の理解 弾き歌い「おべんとう」			【初級者の教則本(バイエル)及び学習事項】		
	4	拍子とリズムの理解 弾き歌い「おかえり」			・低音部譜表の習熟 ・臨時記号の習熟		
	5	幹音と派生音 変化記号の理解 弾き歌い「さよなら」			・拍子の理解と習熟 ・スラー、マルカート奏法		
	6	調号と臨時記号 生活の歌「歯をみがきましょう」			・拍子の理解と習熟 ・音階 調性 調号		
	7	反復記号・省略記号 生活の歌「おかたづけ」			系の音階と 系の音階 長音階と短音階		
	8	強弱 速度 発想記号 生活の歌「先生とおともだち」			弾き歌いまとめ(生活、季節、行事、式典)		
	9	音階 調性 生活の歌「おててをあらいましょう」			【中級・上級者の教則本】		
	10	和音 生活の歌「ハッピー・バースデー・トゥー」			ソナチネアルバム		
	11	和音 季節の歌・こどものうた			ブルグミュラー		
	12	コードネーム 季節の歌・こどものうた			ソナタアルバム		
	13	コードネーム 季節の歌・こどものうた			または同レベルのピアノ曲		
	14	伴奏法 季節の歌・こどものうた			弾き歌いまとめ(生活、季節、行事、式典)		
	15	伴奏法 季節の歌・こどものうた		29	後期実技試験(ピアノ・弾き歌い)リハーサル		
成 績 評 価 の 基 準 と 方 法	■ 定期試験(前期:筆記50%・実技(歌唱)30% / 後期:実技(ピアノ演奏40%・弾き歌い40%)) 各期80% ■ 授業への取り組み・態度(欠席1回で2点減点) 各期 20% 前期と後期の平均。						
教 科 書	全員購入「こどものうた 100」(チャイルド本社) 「ジュニアクラスの楽典問題集」(ドレミ楽譜出版社) 「全訳(標準)バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社) 各自の進度に応じた教則本						
参 考 書	保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 具体的には、授業時に各自の進度に合わせて担当教員より指示します。						
予 習 ・ 復 習 ・ 課 題 な	ピアノや弾き歌いは、毎日の個人練習が必要です。						
関 連 科 目	ピアノA ピアノB 音楽表現						
質 問 受 付 の 方 法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	配布プリントはA4ノートに貼り、整理しておくこと。ピアノレッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意をすること。						

授 業 科 目 名	図画工作			教 員	橋本 夏夫		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許選択必修						
授業内容を示すキーワード	「基礎的な技法の習得」「身近な材料」「素材の特性」「ゆっくり丁寧に」						
授 業 の 概 要	さまざまな描画や制作を实践して、道具や材料の基礎的な扱い方を身につけます。描くことや作ることの楽しさを体験しながら制作することへの理解を深めます。さらに制作することの楽しさを子どもに伝えられる力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 基礎的な図画工作の技法を習得する。身近にあるものを使って作ることの楽しさを体験し、作ることに對する理解を深める。ゆっくりと丁寧に制作することができるようになる。 【到達目標】 多くの技法を身に付けることによって、表現力の幅を広げ制作に自分なりの工夫を凝らせるようになる。将来の指導者として制作の楽しさを子どもたちに伝えられるようになる。						
授業の方法等	実技を主体とした授業です。ほぼ毎回新しい技法で授業展開しますので出席を重視します。毎回の授業内容を作品とともにスケッチブックにまとめ、学期末に提出があります。やまたんテキスト効果測定図画工作を2回以上実施します。						
授 業 計 画	ガイダンス・授業内容の説明 実技:ポッター・ジュとカラー・ジュ(こすりだし技法を通して表現の楽しさを味わう) 2 デカルコマニー・糸引き版画(簡単な技法で偶然に出来た、色や形を楽しむ) 3 バチック・スクラッチ(クレヨンと絵の具の性質を知り、応用して制作する) 4 ステンシル・スパッタリング(多様な技法を知り、応用して制作する) 5 染め紙・マブリング(多様な技法を知り、応用して制作する) 6 スタンピング・ローリング・ドリッピング(多様な技法を知り、応用して制作する) 7 張子の帽子制作・デザインの決定と下地の制作(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する) 8 張子の帽子制作(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する) 9 張子の帽子制作・仕上げ作業(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する) 10 簡単ウチワ制作(これまでに学んだ、基礎実技を応用して制作する) 11 カード制作(簡単な工夫で平面から立体を立ち上げることを知り、表現の幅をひろげる) 12 折り紙をつなげて遊ぶ・紙と澱粉糊とハサミを使った表現(ハサミの使い方・糊付けの方法を知る。) 13 ドーナツふたつ・おいしいものを描こう(興味あるものを題材とした描画・クレヨンと水性絵の具の使い方) 14 ぶんぶんゴマと登り人形(簡単な仕掛けの動くおもちゃ1)・やまたんテキスト図画工作の実施1. 15 体操人形とトコトコ馬の制作(簡単な仕掛けの動くおもちゃ2)・やまたんテキスト図画工作の実施2.						
成績評価の基準と方法	■定期試験(その他(作品提出・配布プリントをまとめ、添付したスケッチブックの提出) 60%) ■授業への取り組み・態度 40%						
教 科 書	使用しない。毎回プリントを配布する。						
参 考 書	やまたんテキストvol3。毎回プリントを配布する。						
予習・復習・課題など	授業内で必要な準備(制作のプランや必要な材料の用意)は予習として各自が事前に行うこと。課題により制作に必要な材料の持参を求める場合があります。制作物はすべてスケッチブックにまとめ学期末に提出を求めます。						
関 連 科 目	造形表現・子ども文化演習C劇						
質 問 受 付 の 方 法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。2.積極的な姿勢で授業に関わること。3.毎回の授業時に配布するプリントは、各自が注意点を記入し完成させ、スケッチブックに作品と共にまとめること。						

授 業 科 目 名	幼児体育			教 員	鴨志田 加奈		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許選択必修						
授業内容を示すキーワード	幼児、体育、体操、運動、あそび、表現、遊具						
授 業 の 概 要	子どもたちが行う代表的な運動あそびを中心に、遊びの意義、子どもとのかかわり方、援助法について体験的に学ぶ。自分自身の身体性や表現力を高める。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 運動あそびについて保育者としての専門的知識・技能を身につける。また、自身の身体性、表現力が及ぼす影響について考えることで、保育者及び社会人としての基本的姿勢を身につける。 【到達目標】 子どもの運動あそびの意義について理解する 様々な運動あそびについて知り、それを実践できる 子どもへの援助、安全管理等、適切な配慮ができる 自ら元気よくからだを動かせるようになる						
授業の方法等	実技、講義、ビデオ視聴、グループワーク、ロールプレイ、授業内テスト						
授 業 計 画	1	オリエンテーション、運動あそびの意義、運動あそびにおけるねらいと配慮					
	2	幼児とリズム運動の理解					
	3	多様な動きの理解 サーキット遊び体験から考える					
	4	動きを調整する能力の理解 ボール					
	5	動きを調整する能力の理解 縄					
	6	動きを調整する能力の理解 フープ他					
	7	遊び環境の理解 遊びのスペース					
	8	遊び環境の理解 リスクとハザード					
	9	援助の理解 段階的な援助					
	10	援助の理解 集団遊びにおける援助					
	11	伝承される運動遊び					
	12	伝承される運動遊び					
	13	身近な素材を使った運動遊び					
	14	水遊び(衛生・安全への配慮、環境構成)					
	15	水遊び / 授業のまとめ					
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(レポート) 40% ■ 授業への取り組み・態度 60%						
教 科 書	新版「遊びの指導 乳・幼児編」 幼少年教育研究所 同文書院 3,456円(税込)						
参 考 書	「幼児期運動指針ガイドブック」文部科学省 1,300円 + 税						
予習・復習・課題など	教科書・参考書・資料・文献を読んでおくこと。 配布資料を整理しておくこと。						
関 連 科 目	身体表現、リトミック・リズム運動、保育内容ABCD						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、研究室等にて受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	1.運動できる服装で臨むこと。2.内履き、外履きをロッカーに準備すること。3.プリント等はすべてA4判2穴ファイルに整理、保存すること。4.授業実施場所の変更や準備するもの等については教員の指示を良く聞くこと。						

授 業 科 目 名	生活			教 員	野口 一夫		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格、幼稚園教諭選択必修						
授業内容を示すキーワード	幼保小の連携 あそびも学習 自立の基礎 体験活動(地産地消・食育・エコ) 自然とあそぶ						
授 業 の 概 要	「生活科」は平成4年度から小学校低学年に新設された教科。この教科誕生の背景の一つに保育所や幼稚園のいわゆる幼児教育と小学校教育との接続・連携がある。授業では「生活科」の趣旨・内容の理解を通して、改めて幼児教育の特性を再認識し、保育の視点を明らかにすることができる。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】ファームで野菜を育てて現場で役立つ実践力を養い、自然(風・音)と遊びながら、「エコカルタづくり」を通して環境との関わりを学び、保育園・幼稚園と小学校の連携のあり方を習得する。 【到達目標】幼児教育と小学校教育との接続・連携の重要性を認識し、幼児教育の特性を再認識するとともに「自立の基礎を養う」意義を理解することができる。						
授業の方法等	ファームでの観察(土づくり、追肥、除草、収穫、収穫祭) VTR・DVD視聴 PRでの実践等						
授 業 計 画	1 「生活科」とは、なぜ学ぶのか ～あそびも学習 2 「生活科」で行う学習 ～教科書から 五感を使って VTR視聴 3 苗、種の観察 ～観察カードの書き方 4 みんなで育てよう！野菜 5 自然とあそぼう ～笹舟・草笛・紙笛 紙や葉っぱであそぼう 6 学内の植物(樹木・草花) 7 自然とあそぼう ～折り紙ヒコーキ・発泡スチロールペーパー 8 野菜の観察と気付き ～ハルジオンとヒメジョオンの違い ネイチャーゲームを楽しもう 9 生活と環境 エコカルタの企画 環境関連DVD視聴 エコライフ 省エネ等 10 生活と環境 エコカルタ作成 11 生活と環境 エコカルタあそび 12 実践と展開 エコ(ゴミ箱・バッグ)づくり 13 実践と展開 DVD(エコクッキング)視聴と準備 14 実践と展開 エコクッキング～収穫野菜でバーベキュー 15 ポップコーンパーティ 振り返り アンケート						
成績評価の基準と方法	■定期試験(筆記) 60% ■授業への取り組み・態度(欠席は減点対象) 10% ■提出物(レポート) 30%						
教 科 書	不使用						
参 考 書	○啓林館「生活科」教科書 野口一夫 共著 ○「子供と創る楽しい授業」野口一夫 共著 ○「生活科指導」ビデオ 野口一夫他製作 ○「環境・エコへの道標」野口一夫 著						
予習・復習・課題など	毎回レポートを提出し、採点して次回に返却。確認してファイルに保管。特に欠席した場合は担当教員に相談し、適切な処置を早急にとること。						
関 連 科 目	子ども文化演習B(自然とあそび) レクリエーション・野外活動						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	レポートは毎回提出 レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意 ファームで活動ができる服装(ジャージ、スニーカー等)色鉛筆						

保育者の資質を高める科目

授 業 科 目 名	総合演習			教 員	新井 英人・室井 佑美 今村 麻子・福泉 博子		
開 講 時 期	通年	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、園行事、キャリア教育、コミュニケーション能力、ナチュラル保育検定、山短テキスト						
授 業 の 概 要	基礎演習に引き続き、体験学習、行事に向けた事前の準備・事後のふりかえりを中心に、学生としての基本的な生活態度・学びの方法・挨拶、マナー、コミュニケーション能力等を一層向上させ、社会人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について学習します。 2年次での週1回の授業に加え、1年次及び2年次当初における宿泊研修、体験学習(動物飼育又は里山保全)が必須です。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】行事の企画・運営を通して園行事の実践的な能力を習得し、宿泊研修や体験学習を通じて保育者として必要な資質を向上し社会人としての自覚や職業観を習得できます。 【到達目標】(1)幼稚園、保育園などで実施される行事の企画・運営に必要な実践的な保育能力を身につけることができる。(2)宿泊研修や体験学習等を通して社会人として必要な職業観・使命感等を身につけることができる。						
授業の方法等	学内での講義、演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施します。						
授 業 計 画	1	カリキュラム理解・2年オリエンテーション	13	後期オリエンテーション、建学の精神表彰			
	2	クラスゼミ(新しいクラスづくり)	14	クラスゼミ(運動会の準備)			
	3	クラスゼミ、個人面談	15	運動会			
	4	クラスゼミ、個人面談	16	クラスゼミ(双子ちゃん集まれの準備)			
	5	防災避難訓練、学生総会	17	双子ちゃん集まれ			
	6	教育実習事後個別面談指導、	18	クリスマス会準備(全体)			
	7	クラスゼミ(山緑祭準備)、個人面談	19	実習報告会(1・2年合同)			
	8	クラスゼミ(山緑祭準備)、個人面談	20	クラスゼミ(クリスマス会準備)			
	9	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定	21	クラスゼミ(クリスマス会準備)			
	10	山緑祭準備	22	クラスゼミ(クリスマス会準備)			
	11	クラスゼミ(山緑祭片づけ)	23	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定			
	12	前期試験に向けて、建学の精神・学習ゼミ希望等アンケート、山緑祭振り返り	24	クラスゼミ(クリスマス会準備)			
			25	クリスマス会リハーサル			
			26	クリスマス会振り返り			
			27	「建学の精神」等アンケート			
成績評価の基準と方法	■ 授業への取り組み・態度(行事欠席1回で10点減点、授業1回欠席で2点減点します。) 50% ■ 提出物 50%						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
予習・復習・課題など	様々な体験学習や行事、フィールドワークの事前・事後学習のため、授業時間外でもクラス・グループ・個人による活動・準備が必要となります。						
関連科目	基礎演習、スキルアップセミナー、実習指導、子ども文化演習C						
質問受付の方法	各担任に随時聞いてください。						
履修上の注意	総合演習(第1時限)とスキルアップセミナー(第2時限)は、行事や実習の日程に合わせて2時限連続で一体的に授業展開する場合があります。						

授 業 科 目 名	乳児小児救命法			教 員	橋本 夏夫・マスターワークス		
開 講 時 期	後期集中	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	乳児、小児、救命法、心肺蘇生法、けが・事故・病気、手当						
授 業 の 概 要	保育環境においては、睡眠時の呼吸停止や窒息、溺水など、生命にかかわる緊急時への対応が最も重要であり、さらに日常的なけがや急病への適切な対応と手当での仕方を習得しておくことが必要となる。本授業は生命の優先順位に基づき、現場の手順に沿って救命・応急処置の講義、実習を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】この授業の目的は、乳幼児の保育現場における事故防止と、万一の緊急時に医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当を習得することである。 【到達目標】全ての授業に出席することにより、希望者はL.S.F.A.-Children'sプログラムの「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定カードを申請し、取得することができる。認定を取得すると、L.S.F.A.本部により2年間にわたり訓練内容が証明される。						
授業の方法等	こどもの事故や急病における現場の行動手順に沿い、Step-by-step で進める。短時間の講義を行った後、該当する実技演習を行う。なお心肺蘇生については2015年末に改訂された最新ガイドラインに準拠した実習を行う。						
授 業 計 画	1 3日間集中授業で下記の講義と実習を行う。 2 (第1日) 3 1. こどもの事故の現状と応急手当の必要性 4 2. こどもの事故防止、119番通報の仕方 5 3. 保育環境における突然死の実態と予防方法について 6 4. 事故現場の観察と接触(安全確保、感染予防) 7 5. 生の徴候の調査(反応、呼吸、出血の調査) 8 6. 反応がないこどもの手当(気道確保と回復体位) 9 7. 心肺停止の手当(乳児、小児の心肺蘇生/CPR) 10 (第2日) 11 8.心肺蘇生とAEDの使用 12 9.気道内異物の除去(乳児、小児) 13 10. 止血とショック管理(止血法、保温法) 14 11. 全身のけがの調べ方 15 12.各部のけがと応急手当(傷と包帯、骨折、脱臼、打撲など) (第3日) 16 13.こどもの急病の調査(脈拍、呼吸、体温、顔色など) 17 14.こどもの病気の手当(発熱、けいれん、腹痛、脱水、アナフィラキシー、中毒など) 18 15.生物によるけが、こどもの虐待、災害時の注意 19 16.心肺蘇生実技評価セッション(乳児、小児) 20 また、単位取得にあたり、3日間の集中講義に加え、事前指導・事後指導の授業にも参加すること。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教 科 書	「こどもの事故と応急手当」第6版(吉田一心/伊東和雄 著、2017年1月1日発行) 出席にあたりテキストは必携である。 購入方法については後日指示する。						
参 考 書							
予習・復習・課題など	【復習】心肺蘇生法をはじめとして、その日の実習で学んだ方法を、テキストなしでできるように練習をしておく。						
関 連 科 目	子どもの保健						
質 問 受 付 の 方 法	研究室						
履 修 上 の 注 意	運動できる服装・髪型で参加すること。遅刻・欠席・私語・居眠り等は、内容理解不足として不認定になる場合があります。						

授 業 科 目 名	子ども文化演習A			教 員	尾崎 富美子		
開 講 時 期	前期	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	子どもの文化 教材製作 表現発表 パネルシアター						
授 業 の 概 要	課題の手作り教材を製作し、それを使って表現発表をします。子どもの集団とやりとりする技術や態度、言葉について学びます。「パネルシアター」を製作し発表します。それぞれの文化財の特質を理解し、活用することができる保育者を目指します。“子どもの前に立って表現する”という保育には欠かせない場面を想定し、保育者としての資質を身につけていきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育室で活用できる“手作り教材”を作ります。針仕事や手仕事を通して子どものための教材について学びます。発表をとおして自らの在り方を考え、保育者としての力を育てましょう。子どもとコミュニケーションをとるときに必要な態度、ことばを身につけましょう。 【到達目標】 パペットを製作し、基本的な動きを習得して演じます。「パネルシアター」の課題作品を完成させます。表現発表を通して自らの持ち味を生かし、保育者としての自己のイメージをしっかりと持つようにしましょう。						
授業の方法等	演習授業ですから立ったり、座ったりします。先輩の作品や実践場面をDVDなどで視聴し、理解したうえで進めます。製作を行うための準備や片づけには積極的にに関わり、作品を完成させてください。「発表」の場だけではなく実践する場合の環境、器材の準備過程も大切にします。						
授 業 計 画	1 授業ガイダンス・授業で取り組む制作教材について 2 様々な表現的視聴覚文化財の特質について（エプロンシアター・ペープサート・大型絵本） 3 ミトンくまの制作1 4 ミトンくまの制作2 完成・表現の練習をする 5 ミトンくまを使って表現する 保育場面での応用 6 声・動き・視線・立ち姿「子どもとやりとりする表現」を学ぶ 7 パネルシアター ・文化財としての特質を学び制作する 8 パネルシアター ・課題作品制作 9 パネルシアター ・課題作品と表現演習 10 パネルシアター ・発表に向けて動きを考える 11 発表準備 「保育者としての表現」を考える 12 表現発表 パネルシアター 13 表現発表 パネルシアター 14 課題レポートへの取り組み 15 まとめと振り返り						
成績評価の基準と方法	■定期試験（レポート）30％ ■授業への取り組み・態度 20％ ■提出物 20％ ■その他（表現発表）30％						
教 科 書	指定なし						
参 考 書	『かんたん楽しいエプロンで作るポケットシアター』尾崎富美子 トロル出版部 『手袋人形のへや』高田千鶴子 偕成社 『どうぞのいす』香山美子 ひさかたチャイルド						
予習・復習・課題など	基本的な裁縫技術（かがり縫い・玉留）を復習しておくこと。授業時間内で制作の課題を終えられない場合は各自持ち帰って実演日までに完成させること。表現発表前には必ず練習しておくこと。						
関 連 科 目	実習指導 ・ ・ 教育実習1・ 保育実習 ・						
質 問 受 付 の 方 法	授業開始前、授業終了後 随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	教材は購入することになります。（ミトンくま・パネルシアター教材）よく切れるはさみを準備すること。欠席、忘れ物をしないこと。表現発表とレポートが試験になります。						

授 業 科 目 名	子ども文化演習B			教 員	新井 英人・井上 満		
開 講 時 期	前期	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	自然、グループリーダー いつでもだれでも						
授 業 の 概 要	自然を直接体験するプログラムや各種のゲームを体験しながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育所・幼稚園で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培う。 【到達目標】ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業の方法等	グループリーダーを中心に、個人、少人数、大勢とバリエーションを変えながら楽しく活動する。						
授 業 計 画	1 ネイチャーゲームの概要、講義内容について、仲間作りゲーム 2 動物の特徴に気付くネイチャーゲーム 3 生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム 4 観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念 5 身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法 6 他の人の感性に気付くネイチャーゲーム、安全対策 7 生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム指導員制度 8 現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む 9 感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲームと指導実習 10 全体のふりかえりとまとめ、(リーダー登録者は検定試験を兼ねる) 11 レクリエーション パート1 歌遊びゲーム 12 レクリエーション パート2 頭のゲーム 13 自然講座 パート1 樹木 14 自然講座 パート2 草花 15 自然講座 パート3 動物						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔レポート〕80% ■ 授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	「こどもと自然とネイチャーゲーム」 1,650円 購入方法については授業時に指示する。						
参 考 書							
予習・復習・課題など	復習：実習で行ったアクティビティの“ねらい”を再確認しましょう。配付されたプリント類にはもう一度目を通しましょう。 予習：キャンパスの自然のなかで、「五感」で気付いたものを一つ見つけてみましょう。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	指導員、担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	運動ができる服装、シューズを用意する。資格取得には若干の費用が掛かる。						

授 業 科 目 名	子ども文化演習C・劇			教 員	鴨志田 加奈・橋本 夏夫・福泉 博子		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	総合的な表現、表現の過程、創造性、協働性、表現力、コミュニケーション、表現技術、保育者としての資質						
授 業 の 概 要	劇の特徴は、言語表現・造形表現・身体表現・音楽表現などを融合しながら、物語の世界を総合的に表現することです。この表現に対する総合的な捉えは、子どもたちのごっこ遊びやイメージの世界を理解する上で必要不可欠な視点です。 本授業では2年間の学びを活かしながら、子どもたちが鑑賞する事を目的とした劇を創作・実演します。子どもの心性に基づき意図をもって作品を創作すること、実際に自身が舞台上で表現することを通して、総合的な表現の重要性・表現の過程の重要性や演出法・制作技術・各種効果等を学び、保育者としての資質と専門性を高めていきます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】子どもたちが鑑賞する事を目的とした劇作品について意図をもって創作・実演する感性と具体的な技術を身につけること、この体験過程を通して自身の表現力、コミュニケーション能力、創造力、問題解決能力等の実態に気づき、それらに果敢に挑んでいく態度を身につけることをねらいとします。 【到達目標】子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。自身の表現力・表現技術を身につける。演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。						
授業の方法等	講義、制作、実技、演習、発表、グループワーク						
授 業 計 画	1 オリエンテーション(子どもの心性と総合的な表現の理解) 劇制作組織を学ぶ 演出部の選出 2 全体ワークショップ (演出法・制作技術・音響照明効果) 演出部:題材の検討・制作計画 3 全体ワークショップ (ステージング、振付け、演技) 演出部:台本の作成 4 劇制作 全体:台本第一稿配布 物語・キャラクター理解 演出部:演出プランミーティング 5 劇制作 全体:本読み(5W1Hで台詞を捉える) 演出部:装置プランミーティング 6 劇制作 全体:シーン作り(役の関係性から考える動線) 道具係:制作 7 劇制作 全体:シーン作り(歌・踊りに意図を持たせるステージング) 道具係:制作 8 劇制作 全体:シーン作り(音響・照明の効果) 道具係:制作 9 劇制作 全体:シーン作り(芝居全体から見た部分の役割) 衣装ミーティング 10 劇制作 荒通し(全体を見通す) 11 全体調整ミーティング 12 通し(全体調整・制作過程について)(装置、衣装付き通し) 13 リハーサル(ゲネプロ) 14 本番映像鑑賞、片付け 15 省察・授業のまとめ 発表本番は総合演習のクリスマス会で行います						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(レポート) 30% ■ 授業への取り組み・態度 70%						
教 科 書	使用しない						
参 考 書							
予習・復習・課題など	授業時間外の練習や制作は予習・復習の時間と捉えられ、授業を構成している時間となります。授業中・授業外共にグループ活動への積極的な参加、自主的な練習が求められます。日常から表現に興味を持って、積極的にジャンルを問わず様々な表現に触れる機会を作ってください。						
関 連 科 目	身体表現、音楽表現、造形表現、保育内容ABCD						
質 問 受 付 の 方 法	適宜、担当教員の研究室等で受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	責任のある行動を求めます。報連相に努め、チームの一員という自覚をもって取り組んでください。						

授 業 科 目 名	子ども文化演習D			教 員	菅原 きよみ		
開 講 時 期	後期	配当年次	1・2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	建学の精神、学園の歴史、浴衣作り、着付け、着物のたたみ方、マナー						
授 業 の 概 要	・学園の建学の精神や歴史を理解しながら、学園のルーツである和裁を体験し、自分の浴衣を製作する。 ・翌年の七夕に、自作の浴衣を着て、参加できるようにする。 ・七夕の前に補習を行い、着付け、ヘアースタイル、着物を着ているときの立ち居振る舞い等を学習する。						
授業のねらいと到達目標	[ねらい] ・学園のルーツに触れ、建学の精神を理解する。 ・実際に和裁に触れ、和の知恵を体験する。 ・自分の浴衣を完成させ、七夕で着ることにより、達成感と自信を身につける。 [到達目標] ・学園の建学の精神、創立のルーツについて説明できる。 ・和裁の知恵が詰まった浴衣とその作り方を理解し、自分で浴衣を作ることができる。 ・子どもに浴衣を正しく着せることができる。						
授業の方法等	講義と演習方式						
授 業 計 画	1 柄合わせ、裁断 2 柄合わせ、裁断 3 袖標付け・袖下の縫い方 4 袖丸みの始末・袖口の三つ折りぐけ 5 見頃の標付け・背縫い・きせのかけ方 6 肩当て・居敷当ての裁断(新モス使用)・縫い方 7 肩当て付け・居敷当て付け 8 衽の標付け・衽付け(待ち針の打ち方・三つ衿芯の入れ方)・衽付け始末 9 衿下三つ折りぐけ・衿標付け・衿付け(待ち針の打ち方・三つ衿芯の入れ方) 10 衿付け・衿付け始末 11 共衿標付け・共衿付け・脇縫い 12 脇縫い始末 13 裾ぐけ(額縁の作り方) 14 袖付け・袖付け始末 15 仕上げ(完成確認・アイロンのかけ方)・着物のたたみ方						
成績評価の基準と方法	■定期試験(その他(ゆかたの完成提出)) 50% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他(単元ごとのできばえ) 30%						
教科書	和裁教本 ゆかた (著作者 山村学園創設者 山村 婦みよ先生) 購入の方法については授業時に指示します。						
参考書							
予習・復習・課題など	和裁教本・配布プリントを読んでおくこと。各自の進度により、次回までの課題を指導するので進めておくこと。必要に応じて補習を行う。						
関連科目	子ども文化演習A・表現						
質問受付の方法	基本的に授業内で受け付ける。						
履修上の注意	翌年の七夕に着られるように製作を行う。七夕の直前で着付け・マナー指導等の補習を数回行う。後期授業開始前に、浴衣地の販売とガイダンス(授業計画・教材の説明・用具の使い方)を行う。						

授 業 科 目 名	レクリエーション・野外活動			教 員	新井 英人・井上 満		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	自然、グループリーダー いつでもだれでも						
授 業 の 概 要	自然を直接体験するプログラムや各種のゲームを体験しながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育所・幼稚園で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培う。 【到達目標】ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業の方法等	グループリーダーを中心に、個人、少人数、大勢とバリエーションを変えながら楽しく活動する。						
授 業 計 画	1 ネイチャーゲームの概要、講義内容について、仲間作りゲーム 2 動物の特徴に気付くネイチャーゲーム 3 生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム 4 観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念 5 身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法 6 他の人の感性に気付くネイチャーゲーム、安全対策 7 生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム指導員制度 8 現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む 9 感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲームと指導実習 10 全体のふりかえりとまとめ、(リーダー登録者は検定試験を兼ねる) 11 レクリエーション パート1 歌遊びゲーム 12 レクリエーション パート2 頭のゲーム 13 自然講座 パート1 樹木 14 自然講座 パート2 草花 15 自然講座 パート3 動物						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験〔レポート〕80% ■ 授業への取り組み・態度 20%						
教 科 書	「こどもと自然とネイチャーゲーム」 1,650円 購入方法については授業時に指示する。						
参 考 書							
予習・復習・課題など	復習:実習で行ったアクティビティの“ねらい”を再確認しましょう。配付されたプリント類にはもう一度目を通しましょう。 予習:キャンパスの自然のなかで、「五感」で気付いたものを一つ見つけてみましょう。						
関 連 科 目							
質 問 受 付 の 方 法	指導員、担当教員 随時						
履 修 上 の 注 意	運動ができる服装、シューズを用意する。資格取得には若干の費用が掛かる。						

授 業 科 目 名	ピアノA			教 員	山 邊 樹久生・数野 麻衣子 大導寺 俊平・町田 百合絵・福土 紗希		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 個別学習 習熟度別学習						
授 業 の 概 要	保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法を学びます。ピアノ未経験者から上級者まで、個々のレベルに合わせたレッスンを行います。初級者はバイエルなどの教則本を使い初歩的技術の習得を、中・上級者はソナチネなど様々な楽曲を用いて総合的な音楽力を身につけます						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】読譜力を身につけ、正しい運指法、打鍵法で演奏できるようにします。幼稚園・保育所等で歌う「こども・幼児のうた」を弾き歌いできるレベルを目指します。 【到達目標】初級者はバイエル85番、中級者はバイエル終了を到達目標とし、上級者はソナチネ・ソナタなどが弾けるようにします。また、園で歌われる生活の歌や季節の歌、童謡などが弾き歌いできることを目標とします。						
授業の方法等	演習形式で行います。個人レッスンを毎週行います。 ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 2 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 3 バイエル 導入 右手・左手 4 バイエル 導入 左右の手の独立・各指の独立 5 バイエル 導入 カノン 6 バイエル 基礎 分散和音の練習と重音の練習 7 バイエル 基礎 新しい調とその練習 8 バイエル 基礎 複合問題 9 バイエル 応用 曲の構成の把握と転調を含む曲 10 バイエル 応用 総復習 11 ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 12 弾き歌い 生活の歌 13 弾き歌い 行事の歌 14 弾き歌い 季節の歌 15 実技試験リハーサル(ピアノ、弾き歌い)						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(実技(ピアノ40%・弾き歌い40%)) 80% ■ 授業への取り組み・態度(授業欠席1回で2点減点) 20%						
教 科 書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) 個人のレベルに合わせ各担当教員から指示があります。						
参 考 書	「こどものうた100」(チャイルド社) 保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集						
予習・復習・課題など	ピアノや弾き歌いは毎日の個人練習が必要です。						
関 連 科 目	音楽 音楽表現 ピアノB						
質 問 受 付 の 方 法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参すること。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意すること						

授 業 科 目 名	ピアノB			教 員	福泉 博子・山邊 樹久生・数野 麻衣子 大導寺 俊平・町田 百合絵・福土 紗希		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	ピアノ 弾き歌い 伴奏法 基礎・基本確立 専門性向上						
授 業 の 概 要	「音楽」「ピアノA」における習得成果を踏まえ、ピアノ奏法や弾き歌い、和音やコードを使った伴奏付けなどに必要な技能を学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 音楽的な資質・能力を高め、実際に保育現場から求められる要求に応えられる専門性を身につけることができます。一方、習熟度の低い学生は、基礎的、基本的能力の向上を目指します。 【到達目標】 習熟度の低い学生はソナチネなどの曲が弾けるように、弾き歌いでは和音や分散和音を用いたこどもの歌が弾きこなせるようにする。中上級者はソナタや同等のピアノ曲の演奏、また、自分で童謡などに伴奏がつけられるようにする。						
授業の方法等	演習形式で行います。 各自の進度に応じた個人レッスンを行います。						
授 業 計 画	1 オリエンテーション 各自の目標 授業内容の確認 2 個々の進度に応じたピアノ曲、弾き歌い 伴奏付け等の個人指導を毎週行います。 3 打鍵法 運指法 4 拍子とリズム テンポ 5 曲想やフレーズについて 6 強弱法 音階法 7 調性と移調について 8 初見演奏練習 9 伴奏法について ・和音奏法 ・分散和音奏法 ・メロディと伴奏 10 歌唱法 11 聴音とソルフェージュ 12 実技試験リハーサル(ピアノ・弾き歌い)						
成績評価の基準と方法	■ 定期試験(実技(ピアノ40%・弾き歌い40%)) 80% ■ 授業への取り組み・態度(授業欠席1回で2点減点) 20%						
教 科 書	ソナチネアルバム1・2(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) その他に個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示があります。						
参 考 書	保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集						
予習・復習・課題など	ピアノや弾き歌いは、毎日の個人練習が必要です。						
関 連 科 目	音楽 音楽表現 ピアノA						
質 問 受 付 の 方 法	随時受け付けます。						
履 修 上 の 注 意	教員からの指示を楽譜に書き込めるよう、筆記用具を持参すること。						

授 業 科 目 名	スキルアップセミナー			教 員	相沢 和恵・橋本 夏夫 鴨志田 加奈・橋本 淳一		
開 講 時 期	通年	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	学習ゼミ、少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授 業 の 概 要	前期は基礎演習と関連を図りながら、保育に必要な「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」について具体的に理解を図るようにします。後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編成し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形態での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】様々なスキルアップテーマや興味・関心を同じくするゼミの学習を通して、保育者として必要な専門的知識・技術を身につけ保育者としての自覚を高めることができます。 【到達目標】保育者に必要とされる知識・技術や協調性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができます。						
授業の方法等	前期はクラス単位又は学年単位でスキルアップにつながる学習を進めます。後期は行事の準備や1・2年生合同で縦割りで18人程度の少人数グループを編成しゼミナール形態での学習を展開します。						
授 業 計 画	1	サークル紹介		16	クラスゼミ、TDL振り返り		
	2	クラスゼミ(仲間づくり)		17	学習ゼミ		
	3	クラスゼミ(委員等の決定、個人面談)		18	運動会参加		
	4	クラスゼミ(個人面談)		19	学習ゼミ		
	5	交通安全教室		20	教育実習事後個別面談指導、履歴書写真撮影		
	6	保育体験 (ふれあい体験)		21	学習ゼミ		
	7	保育体験 (ふれあい体験)		22	保育体験 (施設見学)		
	8	クラスゼミ(山緑祭準備、個人面談)		23	学習ゼミ		
	9	保育体験 (園見学)		24	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習		
	10	保育体験 (園見学)		25	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定		
	11	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習		26	学習ゼミ		
	12	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定		27	クリスマス会リハーサル		
	13	クラスゼミ(山緑祭準備)		28	学習ゼミ		
	14	前期試験に向けて、建学の精神・学習ゼミ希望等アンケート、体験学習・TDL事前学習		29	学習ゼミ		
	15	体験学習オリエンテーション					
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(スキルアップの学習 30%、行事 20%、ゼミナール 50%) 100% 行事欠席1回で10点減点、授業1回欠席で2点減点します。						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
予習・復習・課題など	専門的な内容への取り組みとなりますので、授業時間外でもクラス・グループ・個人による活動・作業が必要となります。						
関連科目	基礎演習、総合演習、スキルアップセミナー						
質問受付の方法	各担任やゼミナール担当に随時聞いてください。						
履修上の注意	基礎演習(第1時限)とスキルアップセミナー(第2時限)は、学習内容によって1限目と連続で実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。保育体験 としてボランティア活動もあります。						

授 業 科 目 名	スキルアップセミナー			教 員	新井 英人・室井 佑美 今村 麻子・福泉 博子		
開 講 時 期	通年	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	少人数指導、保育に関する専門性、自己理解						
授 業 の 概 要	前期は「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から数テーマに沿ってそれぞれのスキル(専門技術)アップを目指します。後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編成し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形態での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】様々なスキルアップテーマや興味・関心を同じくするゼミの学習を通して、保育者として必要な専門的知識・技術を身につけ保育者としての自覚を高めることができます。 【到達目標】保育者に必要とされる知識・技術や協調性などを習得することによって、保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を図ることができます。						
授業の方法等	前期はクラス又は学年単位で責任実習等のテーマ別のスキルアップ講座を学習します。後期は行事の準備や1・2年生合同で縦割りで15人程度の少人数グループを編成しゼミナール形態での学習を展開します。						
授 業 計 画	1	サークル紹介	13	クラスゼミ			
	2	クラスゼミ・個人面談(進路等)	14	学習ゼミ			
	3	クラスゼミ・個人面談(進路等)	15	運動会			
	4	クラスゼミ・個人面談(進路等)	16	学習ゼミ			
	5	交通安全教室	17	双子ちゃん集まれ			
	6	教育実習事後個別面談指導、	18	クラスゼミ			
	7	クラスゼミ、個人面談	19	学習ゼミ			
	8	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習	20	クラスゼミ(クリスマス会準備)			
	9	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定	21	学習ゼミ			
	10	山緑祭準備	22	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定事前学習			
	11	前期試験に向けて、建学の精神・学習ゼミ希望等アンケート、山緑祭振り返り	23	ナチュラル保育検定、山短テキスト効果測定			
	12	クラスゼミ、個人面談	24	学習ゼミ			
			25	クリスマス会リハーサル			
			26	学習ゼミ			
			27	学習ゼミ			
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度(スキルアップの学習 30%、行事 20%、ゼミナール 50%) 100% 行事欠席1回で10点減点、授業1回欠席で2点減点します。						
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
予習・復習・課題など	専門的な内容への取り組みとなりますので、授業時間外でもクラス・グループ・個人による活動・作業が必要となる場合があります。						
関連科目	基礎演習、総合演習、スキルアップセミナー						
質問受付の方法	各担任やゼミナール担当に随時聞いてください。						
履修上の注意	総合演習(第1時限)とスキルアップセミナー(第2時限)は、学習内容によって1限目と連続で実施したり、同じテーマでもそれぞれの授業の違った観点から展開したりする場合があります。						

実 習 科 目

授 業 科 目 名	実習指導			教 員	橋本 淳一・相沢 和恵 今村 麻子・室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	教育実習 幼稚園						
授 業 の 概 要	主として「教育実習」の事前・事後指導として、実習準備から実習終了に至る一連の手続きの仔細とともに、実習に必要な基礎的な知識や技術、たとえば観察のポイントや子どもとのかかわり方から、幼稚園におけるより実践的な指導法や指導計画の立て方や指導案の書き方までを学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】主として教育実習を円滑に行うため、「記録」することを中心に必要十分な実習に関する知識・態度・技術・能力を習得する。 【到達目標】保育者であることを自覚し、基本的な実習態度を習得するとともに、保育場面を適切に観察し必要十分な実習日誌を作成でき、保育実践にも参加できる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
授 業 計 画	1 実習科目の概略と実習登録カードの作成 2 実習幼稚園の自己開拓の進め方 3 実習の意義と実習生の心構え 4 子どもの姿と子どもとのかかわり方（保育場面のビデオ教材から） 5 子どもの姿と子どもとのかかわり方（保育場面のビデオ教材から） 6 保育体験の振り返り / 幼稚園と保育所、幼稚園教諭と保育士 7 保育体験の振り返り / 教育実習（幼稚園）のねらい 8 幼稚園・保育園見学の準備（態度、マナー、観察の仕方、記録の書き方） 9 幼稚園・保育園見学の振り返り（学生の記録と園の日報をもとに） 10 幼稚園・保育園見学の振り返り（学生の記録と園の日報をもとに） 11 保育実践ボランティアのねらいと進め方 12 実習日誌の書き方 実習の進め方と実習目標・課題、実習計画の立て方 13 実習日誌の書き方 一日の流れと環境構成 14 実習日誌の書き方 子どもの活動と保育者の援助、一日の振り返り 15 教育実習・保育実践ボランティアへ向けての準備の確認、オリエンテーションの受け方						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 30% ■その他（課題・発表）70%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学、文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
参 考 書	『幼稚園教育指導資料（第1集、第3集）』文部科学省						
予習・復習・課題など	日誌作成練習課題や実習関係手続き書類の作成、実習園との連絡等は授業時間外に行います。						
関 連 科 目	教育実習 保育実習 施設実習 クラス運営と教材研究						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可【Eメールアドレス = jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授 業 科 目 名	実習指導			教 員	橋本 淳一・相沢 和恵・今村 麻子 黒澤 一幸・室井 佑美		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	保育所 乳児 保育実習 児童福祉施設 施設実習						
授 業 の 概 要	「保育実習」及び「施設実習」の事前・事後指導として、実習手続きに加え、保育所や児童福祉施設の機能やそこでの保育や養護、援助の実際を知り、保育者の職務や必要とされる子どもや利用者とののかかわり方、日誌の書き方などを学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】主として保育実習・施設実習を円滑に行うため、「計画を立てる」ことを中心に必要な実習に関する知識・態度・技術・能力を習得する。 【到達目標】保育者としての役割行動(言葉遣いや立居振舞)を取得し、自分で保育計画・指導案を作成して部分・責任実習等で適当な保育実践ができる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
授 業 計 画	1 保育実践ボランティア実習の振り返りと教育実習の開始から終了まで手続き 2 日誌の書き方と指導案の立て方（子どもの姿・発達に着目した記述） 3 日誌の書き方と指導案の立て方（保育者のねらい・留意点に着目した記述） 4 日誌の書き方と指導案の立て方（一日の振り返り・反省を次に生かした記述） 5 教育実習 直前指導（求められる態度、知識、技能の確認） 6 教育実習の振り返りと保育実習・施設実習の事前準備とオリエンテーションまでの手続き 7 施設実習の特色と施設実習のねらい、実習までのスケジュール 8 施設の種別と施設での生活 9 施設の設置目的と対象、実習生の職務 10 施設実習の目標・課題の立て方、日誌の書き方、考え方 11 施設と施設実習の実際(ケーススタディ) 12 保育所保育の特色と保育実習のねらい、実習目標・課題の立て方 13 部分実習の考え方・進め方（含、ロールプレイ） 14 部分実習の考え方・進め方（含、ロールプレイ） 15 保育実習・施設実習 実習の進め方、実習日誌の書き方のまとめ						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 30% ■その他（課題・発表）70%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学、文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
参 考 書	『幼稚園教育指導資料(第1集、第3集)』文部科学省						
予習・復習・課題など	日誌作成練習課題や実習関係手続き書類の作成、実習園との連絡等は授業時間外に行います。						
関 連 科 目	教育実習 保育実習 施設実習 クラス運営と教材研究						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可【Eメールアドレス=jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授 業 科 目 名	実習指導			教 員	橋本 淳一・相沢 和恵・今村 麻子 黒澤 一幸・室井 佑美		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	教育実習 保育実習 施設実習 責任実習 主活動						
授 業 の 概 要	「保育実習」又は「施設実習」(選択)の事前・事後指導として、実習手続きに加え、保育の実践に必要な実践的な知識や技術、子どもや利用者への指導・援助法や指導案の書き方、クラスでの主活動や利用者の活動の展開方法などを学ぶとともに、子ども家庭福祉や地域子育て支援に対する社会的ニーズを理解力する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育実習・施設実習、教育実習を円滑に行うため、計画に基づいて「保育を実践」することを中心に必要十分な実習に関する知識・態度・技術・能力を習得する。 【到達目標】保育者としての使命感や責任感を醸成し、問題解決思考に基づいて保育場面を計画・設定したり、対象に応じた保育を実践したりできる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習・ディスカッション・実技等多様な形式で進めます。						
授 業 計 画	1 教育実習 の準備(オリエンテーションから実習終了までの手続き) 実習登録カード 実習生調書 2 保育実習・施設実習 のまとめ 責任実習を含む実習の特色とその目標・課題の立て方 3 部分責任実習の指導案作成 (季節と子どもの発達に合った主活動の選び方) 4 部分責任実習の指導案作成 (指導のポイントの押さえ方、書き方) 5 教育実習 直前指導(実習目標・課題と主活動の確認) 6 教育実習(後期)の振り返り 保育実習・施設実習 の準備(オリエンテーションから実習終了まで) 7 保育実習 と施設実習 の特色と実習のねらい、実習目標の立て方 8 保育所保育の特色の研究 (3歳未満児と3歳以上児) 9 保育所保育の特色の研究 (地域子育て支援と保護者) 10 通所型児童福祉施設・他での施設実習 例: 児童厚生施設 11 通所型児童福祉施設・他での施設実習 例: 障害者支援施設 12 保育実習 と施設実習 での留意事項と直前指導						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 30% ■その他(課題・発表) 70%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学、文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
参 考 書	『幼稚園教育指導資料(第1集、第3集)』文部科学省						
予習・復習・課題など	日誌作成練習課題や実習関係手続き書類の作成、実習園との連絡等は授業時間外に行います。						
関 連 科 目	教育実習 保育実習 施設実習 クラス運営と教材研究						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可【Eメールアドレス=jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授 業 科 目 名	保育実習			教 員	室井 佑美		
開 講 時 期	集中	配当年次	1	単位数	2	授業形態	実習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	保育所 見学・観察実習 参加実習 部分実習 夏休み保育実践ボランティア						
授 業 の 概 要	保育所において、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に、保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所の機能と役割を具体的に理解するとともに、子どもの観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解および保育士の職務に対する理解を深めます。 【到達目標】 保育所の機能や役割について観察を通して把握し、説明ができる。子どもへの観察やかかわりを通して、発達段階を理解し、個別性を実感して洞察を深め、直接的に援助へと行動ができる。保育士の指導・援助を得て、自ら保育を部分的に実践し、ふりかえりから課題を見つけ出せる。						
授業の方法等	原則、公立保育所(一部、私立保育所)において、見学・観察実習、参加実習、部分実習を中心に2週間(12日間、90時間以上)の実習を行います。						
授 業 計 画	【実習の内容】 1) 実習先の保育所について理解します。 2) 保育所での一日の流れを理解し、参加します。 3) 子どもの観察やかかわりを通して、乳幼児の諸所の発達を理解します。 4) 保育計画および指導計画を理解します。 5) 生活や遊びなど、保育活動の一部分を担当し、保育技術を習得します。 6) 職員間の役割分担とチームワークについて理解します。 7) 保育に関する記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して、家庭・地域社会とのつながりを理解します。 8) 子どもの最善の利益を具体化する方法について学び、考察します。 9) 保育士としての倫理を具体的に学びます。 10) 安全及び疾病予防への配慮について具体的に理解します。						
成績評価の基準と方法	■その他(総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤務状況 15%) 100%						
教科書	「実習ガイドブック」 山村学園短期大学 「保育所保育指針解説書」 厚生労働省 フレーベル館						
参考書	「幼稚園教育指導資料」(第1集～第5集) 文部科学省						
予習・復習・課題など	実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。						
関連科目	実習指導 クラス運営と教材研究						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び担当教員へ直接質問してください。						
履修上の注意	1年次の夏休み期間中に保育所等における「保育実践ボランティア」への参加は必須です。						

授 業 科 目 名	施設実習			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	集中	配当年次	1	単位数	2	授業形態	実習
免許・資格との関係	保育士資格必修						
授業内容を示すキーワード	施設保育士、生活支援、養護、支援・援助、ディリープログラム						
授 業 の 概 要	居住型児童福祉施設等及び障がい児通所施設等の生活に参加し、利用者の理解を図ると共に、施設の役割や機能及び保育士としての職務や養護の実際を学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】児童福祉施設等で利用者と共に生活することにより、保育士としての役割や養護の実際について理解する。 【到達目標】(1)児童福祉施設等の役割と機能を理解する。(2)施設の生活と一日の流れについて理解する。(3)養護内容について理解する。(4)生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。						
授業の方法等	居住型児童福祉施設等及び障がい児通所施設等において、12日間(90時間)実習を行います。						
授 業 計 画	○ 実習施設の役割と機能を理解する。 ○ 児童や利用者の観察と記録を通して児童や利用者の理解を深める。 ○ 児童等の心身の状態に応じた対応を通して養護内容や生活環境のあり方について理解する。 ○ 保育士としての職務内容や職員間のチームワークの必要性について理解する。 ○ 保護者や他機関との連携の在り方について理解する。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価：実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%〕100%						
教 科 書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学						
参 考 書							
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーション参加が実習前に必要です。						
関 連 科 目	社会的養護、社会的養護内容、実習指導、実習指導						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	実習先は大学が指定します。						

授 業 科 目 名	保育実習			教 員	橋本 淳一		
開 講 時 期	集中	配当年次	2	単位数	2	授業形態	実習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	保育所 部分・責任実習 指導案作成						
授 業 の 概 要	保育実習 をふまえて、保育所の保育を実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術の習得をめざします。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養います。						
授業のねらいと到達目標	[ねらい] 保育全般に参加し、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術について、その習得を図ります。 [到達目標] 保育技術を習得するとともに、指導計画を立案し、保育者にかかわって保育を実践します。						
授業の方法等	保育所(私立)において、見学・観察・参加実習に加えて、指導案作成を伴う部分・責任(全日)実習を必ず含めて2週間(12日間、90時間以上)の実習を行います。						
授 業 計 画	【実習の内容】 1) 保育全般に参加し、保育技術を習得します。 2) 子どもの個人差について理解し、対応方法を習得させる。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について学びます。 3) 指導計画を立案し、実際に実践します。 4) 子どもの家族とのコミュニケーションの方法を、具体的に習得します。 5) 地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学びます。 6) 子どもの最善の利益への配慮を学びます。 7) 保育士としての職業倫理を理解します。 8) 保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化する。						
成績評価の基準と方法	■その他(総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%) 100%						
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 厚労省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
参 考 書	『幼稚園教育指導資料(第1集、第3集)』文部科学省						
予習・復習・課題など	実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 実習中の実習日誌の記入や部分・責任実習等の保育実践の準備は原則自宅で行ないます。						
関 連 科 目	実習指導 クラス運営と教材研究						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	「保育実習」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導 の出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また「施設実習」との重複履修はできません。						

授 業 科 目 名	施設実習			教 員	黒澤 一幸		
開 講 時 期	集中	配当年次	2	単位数	2	授業形態	実習
免許・資格との関係	保育士資格選択必修						
授業内容を示すキーワード	個別支援計画、児童家庭福祉、社会的養護、家族支援、問題行動、生活リズム、生活指導						
授 業 の 概 要	保育所以外の児童福祉施設等の生活に参加し、利用者の養護の実際について理解を深めます。それと共に利用者の置かれている環境や障がいの状態等にも目を向け、社会との関連性についても理解を図ります。また、保育士としての業務内容や倫理観等についても学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】児童福祉施設等で利用者と共に生活することにより、保育士としての役割や養護の実際について理解する。 【到達目標】(1)利用者の心情等を受容し、共感する態度を理解する。(2)保育士としての養護内容について理解し、個別支援計画を作成する。(3)利用者の家族への対応を理解する。						
授業の方法等	保育所以外の児童福祉施設等において、12日間(90時間)の実習を行います。						
授 業 計 画	○ 実習施設の養護全般に参加し、実習施設の役割と機能についての理解を深める。 ○ 個々の利用者の観察とその記録、個々の状態に応じた関わりと援助を通して子ども理解を深める。 ○ 個々の利用者の抱える問題や社会との関連性について理解する。 ○ 個別支援計画の理解と活用の実際について理解する。 ○ 職員間のチームワークや関係機関及び保護者等の連携の必要性について理解する。 ○ 保育士としての倫理観や養護観を学び、自己の課題や目標を理解する。 ○ 家庭支援の現状や支援の方法について理解する。 ○ 児童の健全育成の在り方等について理解する。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65% 日誌評価 20% 勤惰状況 15%〕100%						
教 科 書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学						
参 考 書							
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーション参加が実習前に必要です。						
関 連 科 目	社会的養護、社会的養護内容、実習指導、実習指導、実習指導						
質 問 受 付 の 方 法	担当教員に直接質問してください。						
履 修 上 の 注 意	実習参加にあたっては、「施設実習」の単位取得が前提です。また、「保育実習」との重複履修はできません。						

授 業 科 目 名	教育実習			教 員	今村 麻子		
開 講 時 期	集中	配当年次	1	単位数	1	授業形態	実習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼稚園 見学・参加実習						
授 業 の 概 要	幼稚園における保育の実際と幼稚園教諭として必要な知識、技術、能力について、見学・観察・参加を通して実践的に学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】幼稚園教育を具体的に理解するために、子どもの姿を観察しながらかわりをとおして、子どもへの理解を深める。 【到達目標】子どもとかわる中で、園の生活をおおよそ把握することができる。保育者の援助について保育・子どもへの理解を深めることができる。						
授 業 の 方 法 等	幼稚園において、見学・観察(部分)実習を中心に1週間の体験実習を行う。						
授 業 計 画	○ 幼稚園の一日のながれを把握します。 ○ 人、もの、場所など、保育の環境を学びます。 ○ 幼児の姿から、発達や個性について概要を理解します。 ○ 保育内容について学びます。 ○ 保育者の行動を観察し、保育のねらいや配慮を理解します。						
成績評価の基準と方法	■その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15%〕100%						
教 科 書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学 幼稚園教育要領解説						
参 考 書	保育所保育指針解説書 幼稚園教育指導資料(第1集～第5集)文部科学省 等						
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーションが時間外に必要となる。実習日誌の記入や保育実践の準備等は、原則自宅で行う。						
関 連 科 目	実習指導	実習指導	クラス運営と教材研究	他			
質 問 受 付 の 方 法	担当へ						
履 修 上 の 注 意	学内実習が不十分である場合、実習に参加できないことがある。						

授 業 科 目 名	教育実習			教 員	相沢 和恵		
開 講 時 期	集中	配当年次	2	単位数	3	授業形態	実習
免許・資格との関係	幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼稚園 部分実習 一日実習 責任実習						
授 業 の 概 要	教育実習 をふまえて、幼稚園における保育の実際と幼稚園教諭として必要な知識、能力、技術の習得を目指します。教育実習 をふまえて更に実践的に学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】保育全般に参加し、幼稚園教諭に必要な知識、能力、技術の習得を図る。 【到達目標】保育・子どもへの理解を深め、保育者の援助について理解することができる。指導計画を立案し、部分・一日保育を実践することができる。						
授 業 の 方 法 等	幼稚園において参加実習や、指導計画を伴う部分実習、責任実習(一日実習)を3週間の実習で行います。原則として、教育実習 の実施園で行います。						
授 業 計 画	○ 幼児の姿から、発達や個性について概要を理解します。 ○ 保育内容について学びます。 ○ 保育者の行動を観察し、保育のねらいや配慮を理解します。 ○ 保育者の助手的立場になって、指導援助を行います。 ○ 指導計画を立案し、一日の中で一部または一日を実際に担当します。 ○ 自分の保育したことを振り返り、考察し指導を受けます。 ○ 地域における幼稚園の役割、保育者に求められることなどを体験し理解します。						
成績評価の基準と方法	■ その他〔総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤情状況 15% 〕100%						
教 科 書	「実習ガイドブック」山村学園短期大学 幼稚園教育要領解説						
参 考 書	幼稚園教育要領解説書 幼稚園教育指導資料(第1集・第3集)文部科学省 保育所保育指針解説書 等						
予習・復習・課題など	実習園でのオリエンテーションが時間外に必要です。実習日誌の記入や保育実践の準備等は原則自宅で行います。						
関 連 科 目	実習指導	実習指導	実習指導	クラス運営と教材研究	他		
質 問 受 付 の 方 法	担当へ						
履 修 上 の 注 意	学内実習が不十分な場合、実習に参加できないことがあります。						

研 究 理 解

授 業 科 目 名	クラス運営と教材研究			教 員	橋本 淳一・北條 直子		
開 講 時 期	後期	配当年次	1	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	クラス クラス担任 教材研究 指導案作成 主活動(集団遊び、ゲーム)						
授 業 の 概 要	幼稚園や保育所において保育を進める上で基盤となるクラス運営の理論と技法を学びます。特に、クラス担任、保育者として、指導案作成、主活動(集団遊び、ゲーム)、教材研究等、クラス担任として日々の保育を円滑にそして効果的に進めることができるよう、さまざまなシチュエーションを想定しながら実践的に学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育現場や実習の際に求められる、季節や学年(年齢)に応じたクラス運営と保育教材に関する知識と実践力の獲得をめざします。 【到達目標】 クラス運営のポイントを学年(年齢)別に覚える。 1年次2月の保育実習 において、適切な課題のある遊びを主体的に計画・実践できる。						
授業の方法等	大半を演習形式で行います。グループや個人で何かををつくって遊んだり、教室外で活動したり、発表をしたりして進めることになります。必要な材料や用具についてはその都度指示します。						
授 業 計 画	1 幼稚園教諭・保育士の日とクラス担任の役割・仕事 2 身近な素材を使った教材製作のねらいと進め方 3 身近な素材を使った教材製作 4 身近な素材を使った教材製作 5 身近な素材を使った教材製作 6 身近な素材を使った教材製作 7 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の部分指導案の作成と実践の要領 8 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の部分指導案の作成と実践(ロールプレイ) 9 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の部分指導案の作成と実践(ロールプレイ) 10 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の部分指導案の作成と実践(ロールプレイ) 11 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の部分指導案の作成と実践(ロールプレイ) 12 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の部分指導案の作成と実践(ロールプレイ) 13 集団遊び(鬼ごっこ、ゲーム)の実践(ロールプレイ)の相互評価 14 クラス担任としての教材製作、部分指導案の作成と実践のまとめ						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■その他(課題・発表) 80%						
教 科 書	田中亨胤監修・山本淳子編著『実習の記録と指導案』(ひかりのくに)						
参 考 書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
予習・復習・課題など	授業時間外に、課題作成や発表・ロールプレイの準備が必要です。						
関 連 科 目	実習指導 ・ ・ 教育実習 ・ 保育実習 ・						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可【Eメールアドレス=jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	出欠席の呼名も授業内容の範囲とします。また、グループワークでの協働態度も授業内容です。						

授 業 科 目 名	クラス運営と教材研究			教 員	橋本 淳一・北條 直子		
開 講 時 期	前期	配当年次	2	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	クラス クラス担任 指導計画 主活動(課題のある遊び) 園行事 運動会						
授 業 の 概 要	幼稚園や保育所において保育を進める上で基盤となるクラス運営の理論と技法を学びます。クラス担任、保育者として、指導計画、主活動(課題のある遊び)、園行事の運営(運動会)等、日々の保育を円滑にそして効果的に進めることができるよう、さまざまなシチュエーションを想定しながら実践的に学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育現場や実習の際に求められる、季節や学年(年齢)に応じたクラス運営と保育教材に関する知識と実践力の獲得をめざします。 【到達目標】 園行事としての運動会を企画・運営できる。 2年次の教育実習・保育実習において、適切な課題のある遊びを主体的に計画・実践できる。						
授業の方法等	大半を演習形式で行います。グループや個人で何かををつくって遊んだり、教室外で活動したり、発表をしたりして進めることになります。必要な材料や用具についてはその都度指示します。						
授 業 計 画	1 クラス運営に伴う担任の活動と意図の確認 2 部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究 3 部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究 4 部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究 5 部分・責任実習における主活動(課題のある遊び)と指導案の研究 6 園行事の中の活動と遊び 7 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備 8 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備 9 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備 10 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備 11 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備 12 園行事・運動会の企画・運営、指導法の研究と運動会開催準備						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■その他(課題・発表) 80%						
教 科 書	田中亨胤監修・山本淳子編著『実習の記録と指導案』(ひかりのくに)						
参 考 書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館						
予習・復習・課題など	授業時間外に、課題作成や発表・ロールプレイ等の準備が必要です。						
関 連 科 目	実習指導 ・ ・ 教育実習 ・ 保育実習 ・						
質 問 受 付 の 方 法	授業日の授業前後の空き時間、またはEメールを使って質問可【Eメールアドレス=jh0831@gmail.com】						
履 修 上 の 注 意	出欠席の呼名も授業内容の範囲とします。また、グループワークでの協働態度も授業内容です。						

山村学園短期大学

〒350-0396 埼玉県比企郡鳩山町石坂604

【TEL】 049-296-2000

【FAX】 049-096-4880